

平成 25 年度
市民意識調査結果報告書
(概要版)

平成 26 年 2 月
恵 那 市

目次

1	回答者について	1
2	施策の満足度・重要度について	2
3	分野別施策満足度の経年比較について	6
4	分野別施策重要度の経年比較について	12
5	求められるまちづくりの方向性について	18
(1)	満足度・不満度・重要度の上位10項目	18
(2)	全施策マトリックス図	19
6	個別施策について	21
(1)	人口減少対策について	21
(2)	健康づくりについて	21
(3)	子育てについて	22
(4)	生活環境について	22
(5)	防災・消防について	23
(6)	公共交通について	24
(7)	産業振興について	25
(8)	学校教育について	25
(9)	生涯学習について	26
(10)	市民参加・市民協働について	26
(11)	行財政運営について	28
(12)	市議会の活動について	29
(13)	中山道広重美術館について	30
(14)	下校時見守りあいさつ運動について	33
(15)	今後の居留意向について	35

調査の概要

●調査の目的

本調査は、市のこれまでの取り組みに対する市民の評価と、これからのまちづくりに対する考えを把握し、今後の市政運営の基礎資料とするため実施しました。その調査結果については、今後の施策の達成度を測る指標とし、市民が満足する市政の実現に向けて活用することを目的としています。

●調査地域

恵那市全域

●調査対象者

市民（20歳以上）：2,500人（住民基本台帳より無作為抽出）

●調査の方法と期間

本調査は郵便による送・返信での質問紙調査法により、平成25年12月6日から平成25年12月20日までの期間で実施しました。

〔アンケート回収状況〕

発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)	有効回答数 (C)	有効回答率 (C/A)
2,500件	1,375件	55.0%	1,375件	55.0%

無効回答とする全ての設問に回答がないものは0件でした。

●表記方法

単数回答の集計にあたっては、原則として小数点以下第2位を四捨五入したうえで、割合の合計が100.0%になるように調整しています。一方、複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定条件に該当する人）を表しています。

1 回答者について

図1-1 性別（単数回答）

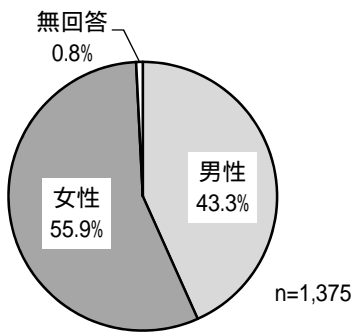


図1-2 年齢（単数回答）

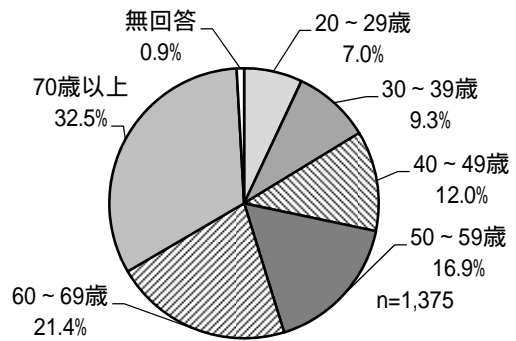


図1-3 居住地（単数回答）

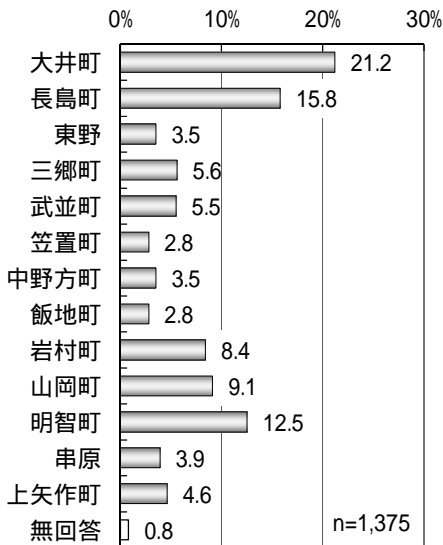


図1-4 職業（単数回答）

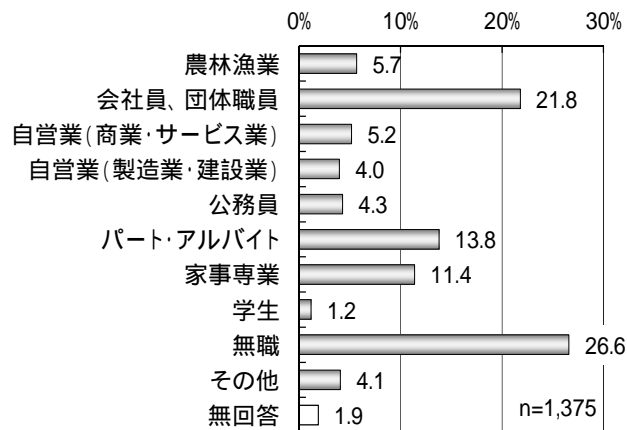


図1-5 居住年数（単数回答）

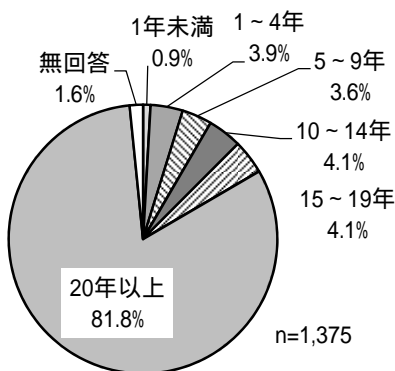


図1-6 居住形態（単数回答）

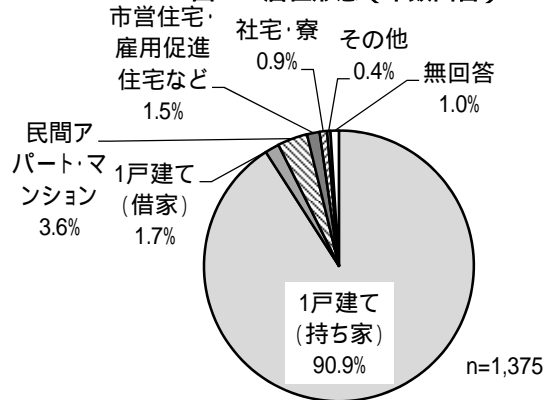


図1-7 家族構成（単数回答）

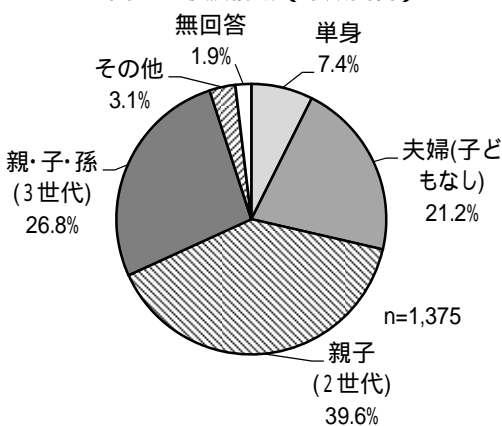
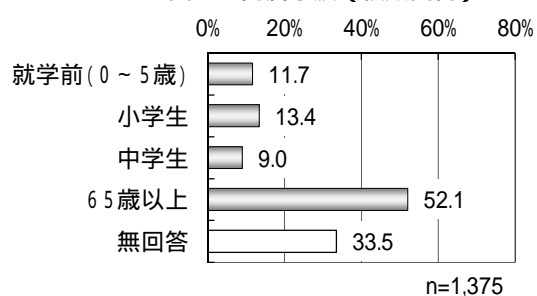


図1-8 同居家族（複数回答）



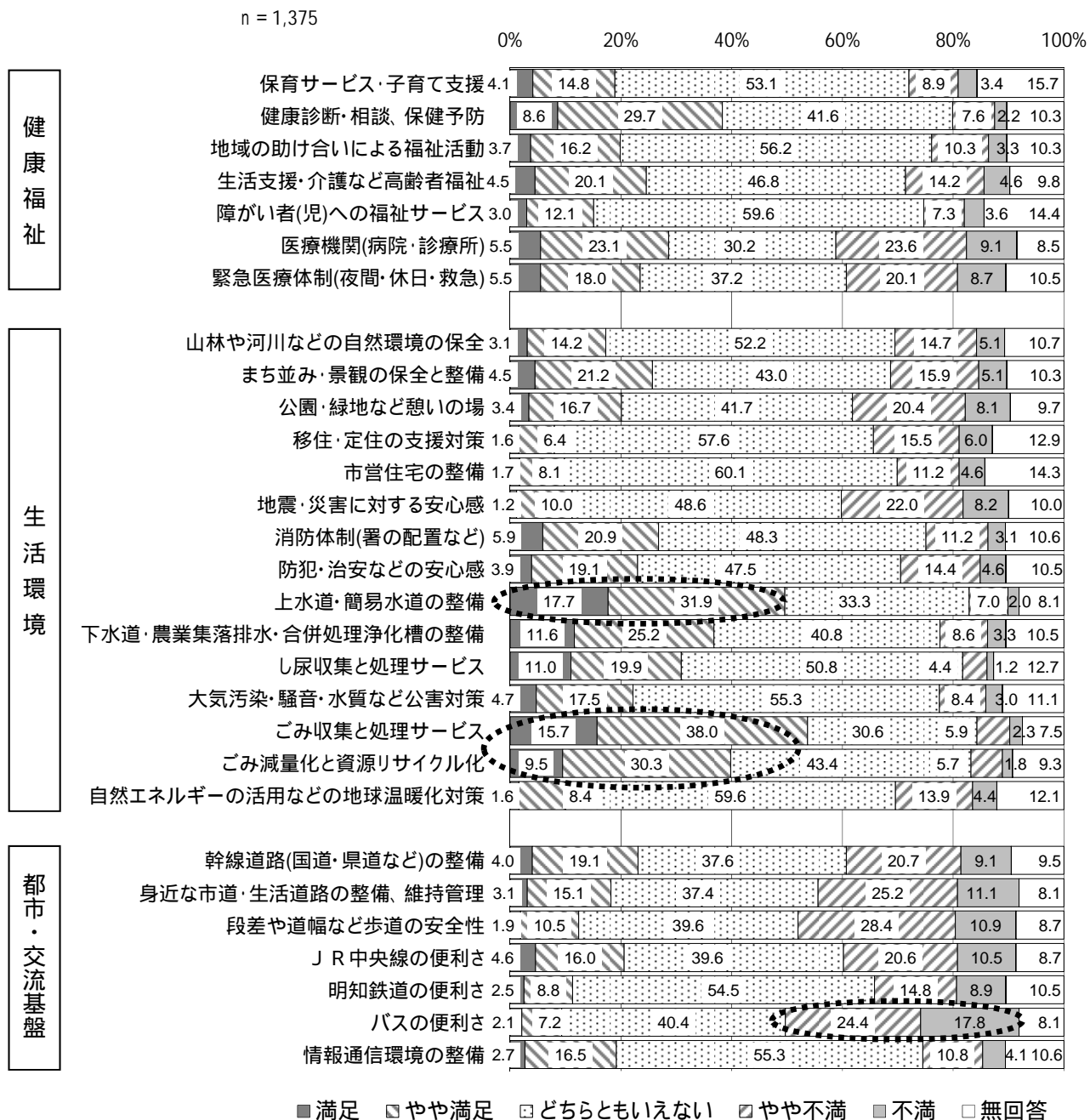
2 施策の満足度・重要度について

(1) 全57施策の満足度(今回調査一覧)

【問9】「1」～「5」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに 印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに 印を付けてください。 単数回答

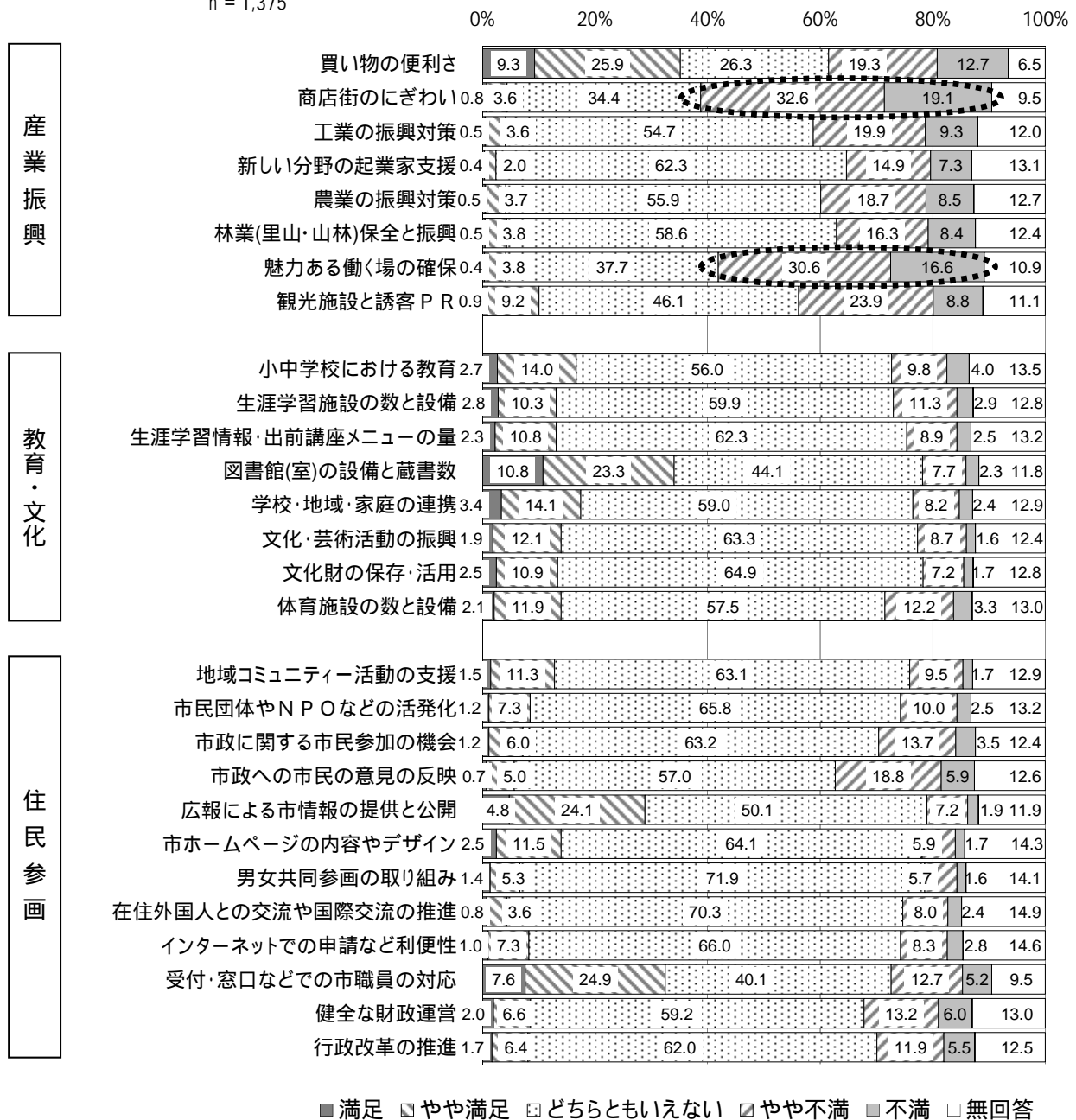
満足度(「満足」と「やや満足」の合算)の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」が53.7%、「上水道・簡易水道の整備」が49.6%、「ごみ減量化と資源リサイクル化」が39.8%となっています。

図2-1 全57施策の満足度(単数回答)



また、不満度（「やや不満」と「不満」の合算）の高い施策は、「商店街のにぎわい」が51.7%、「魅力ある働く場の確保」が47.2%、「バスの便利さ」が42.2%となっています。

n = 1,375

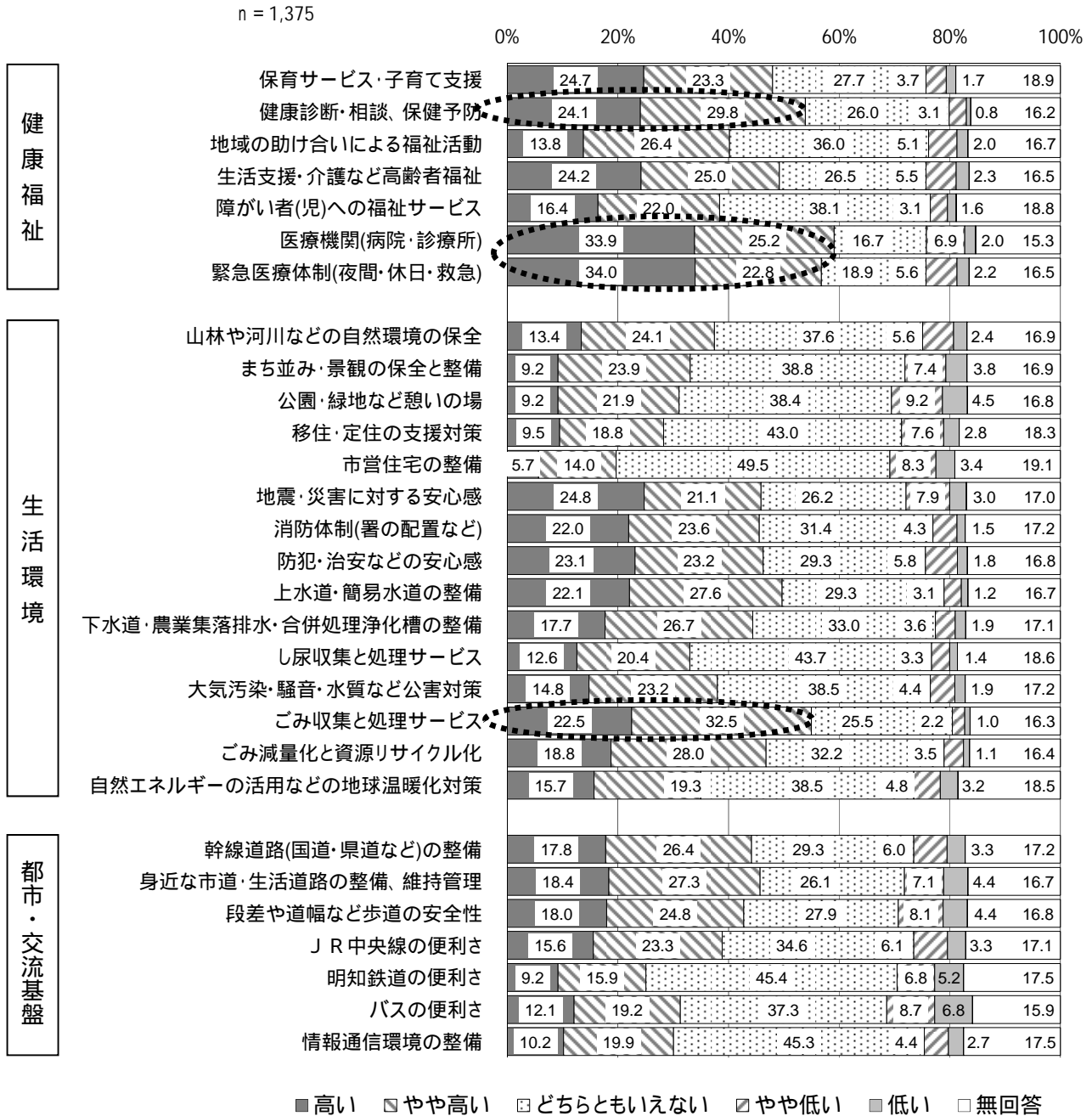


(2) 全57施策の重要度(今回調査一覧)

【問9】「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに 印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに 印を付けてください。 単数回答

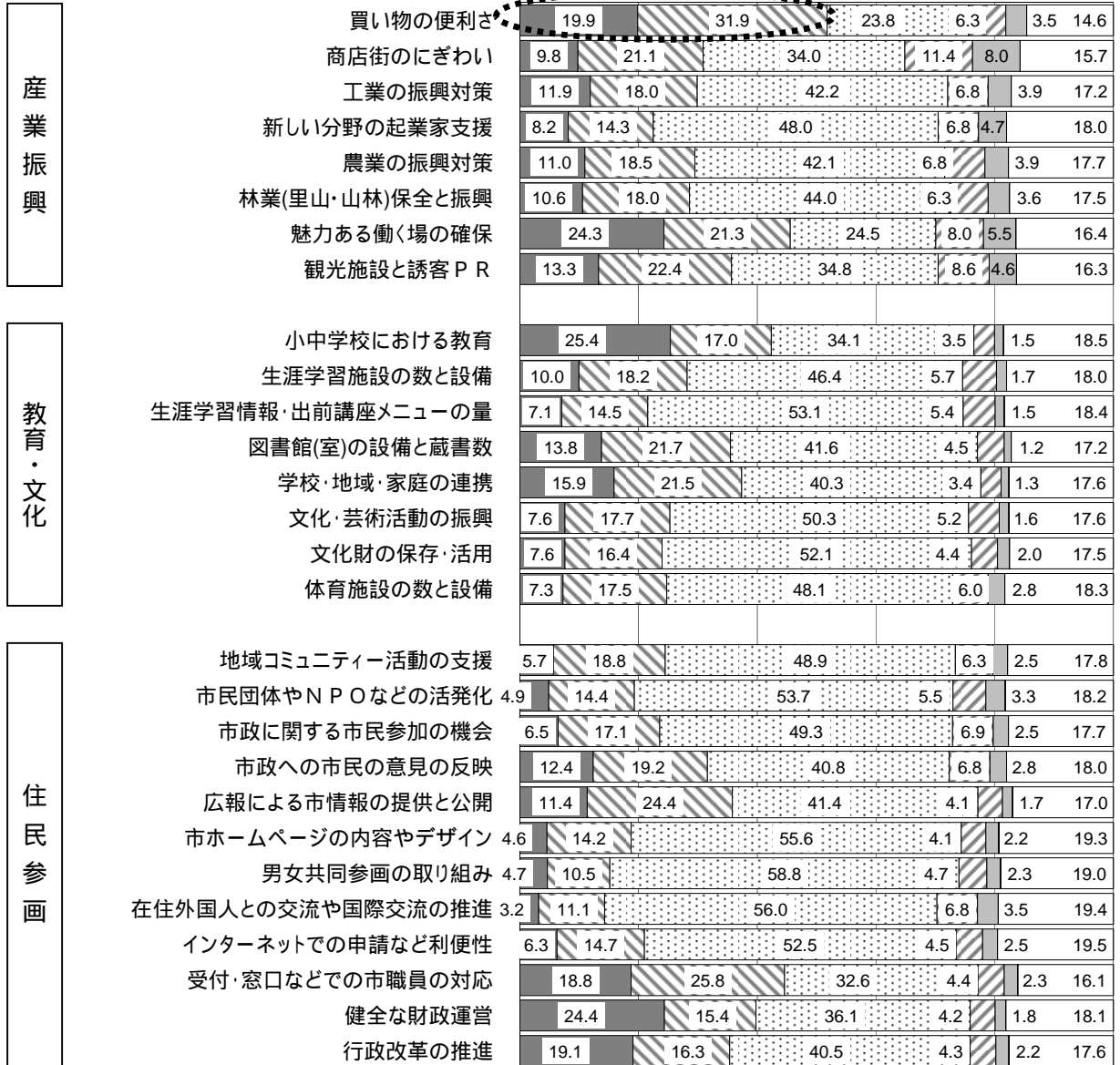
重要度(「高い」と「やや高い」の合算)の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」が59.1%、「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」が56.8%、「ごみ収集と処理サービス」が55.0%、「健康診断・相談、保健予防」が53.9%、「買い物の便利さ」が51.8%となっています。

図2-2 全57施策の重要度(単数回答)



n = 1,375

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 高い □ やや高い □ どちらともいえない □ やや低い ■ 低い □ 無回答

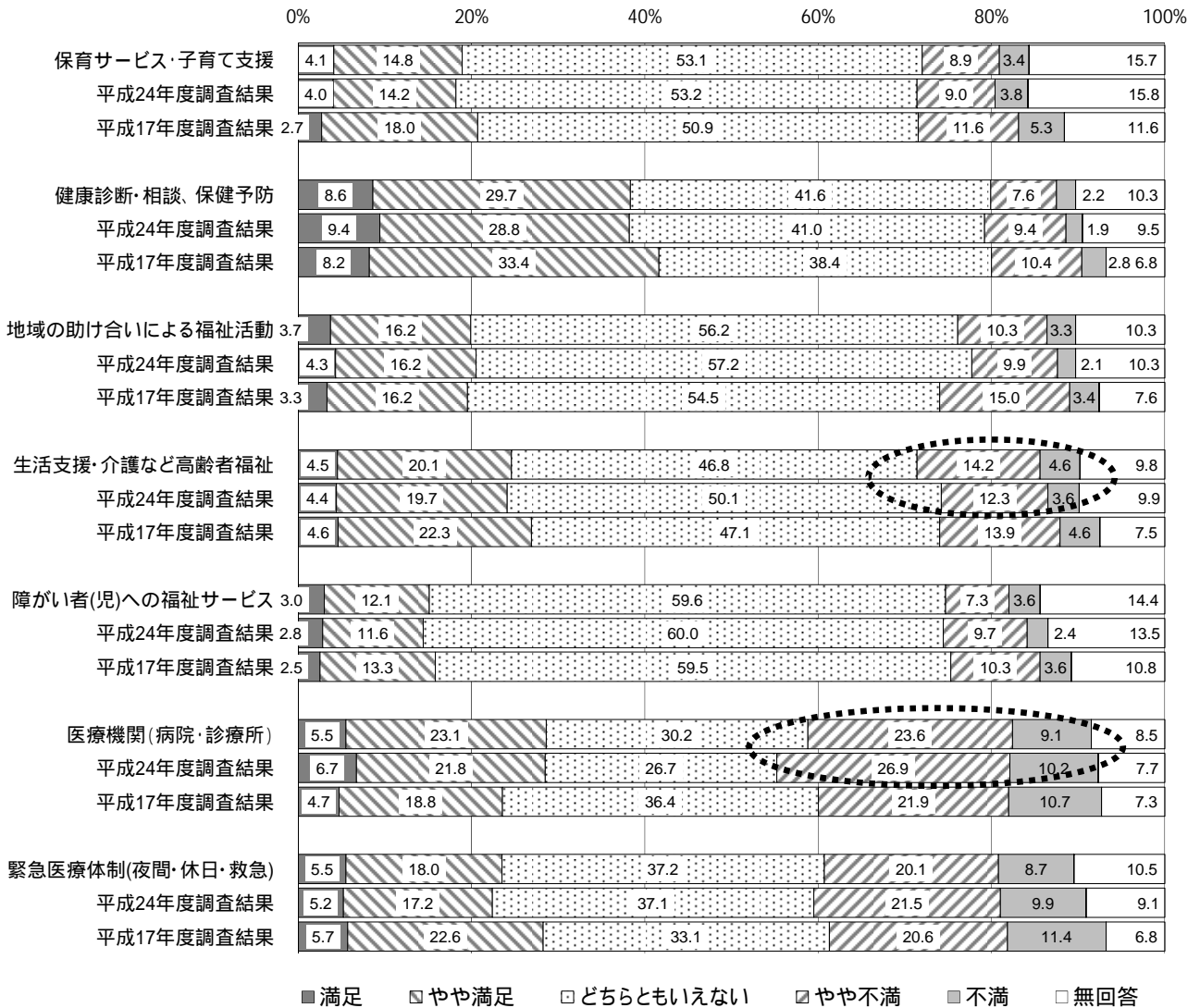
3 分野別施策満足度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「生活支援・介護など高齢者福祉」で2.9ポイント上昇し、「医療機関（病院・診療所）」で4.4ポイント低下しています。

図3-1 健康福祉分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

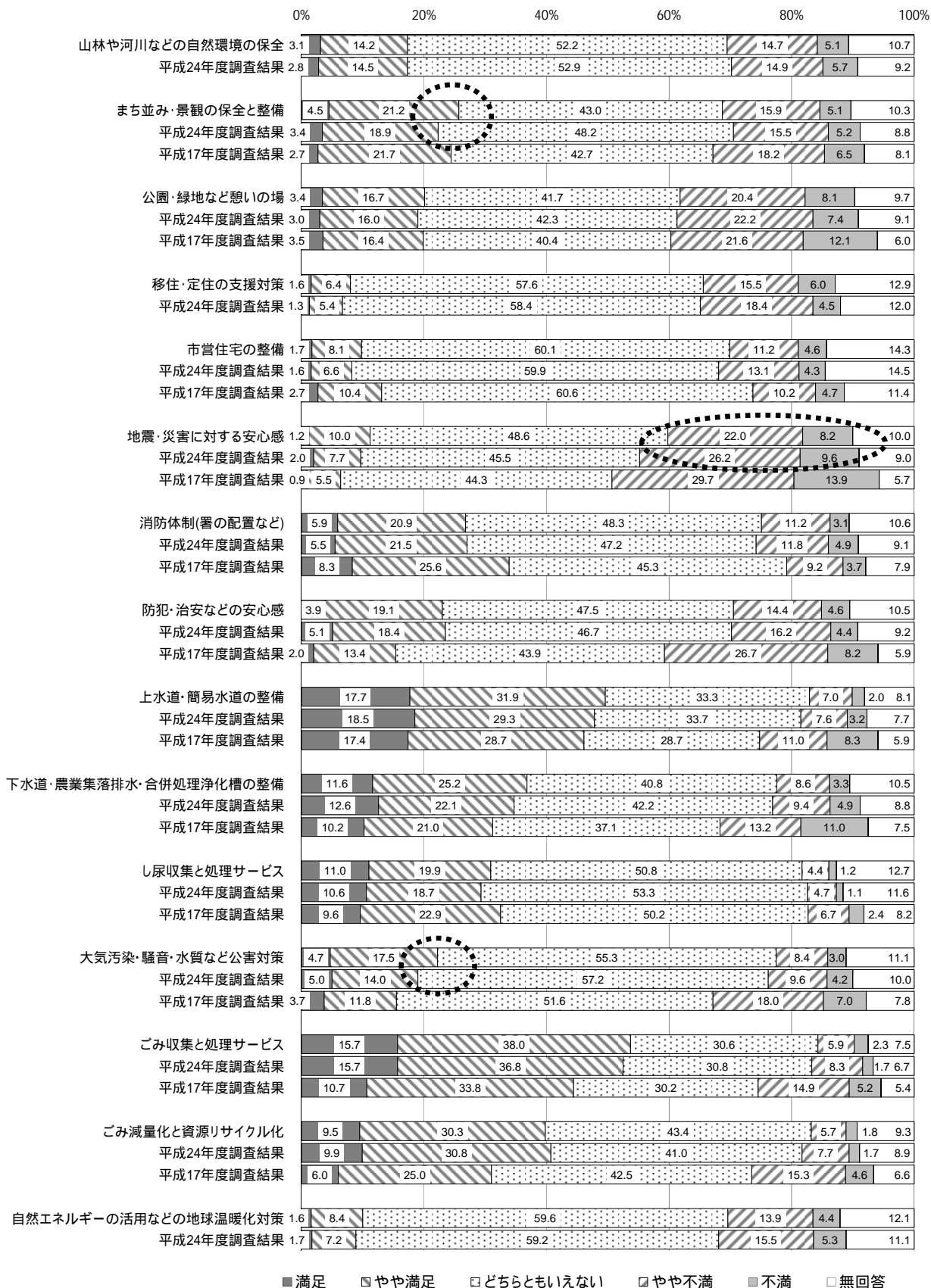


(2) 生活環境分野

生活環境分野の満足度を前年度と比較すると、「まち並み・景観の保全と整備」で3.4ポイント、「大気汚染・騒音・水質など公害対策」で3.2ポイント上昇しています。不満度を前年度と比較すると、「地震・災害に対する安心感」で5.6ポイント低下しています。

図3-2 生活環境分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

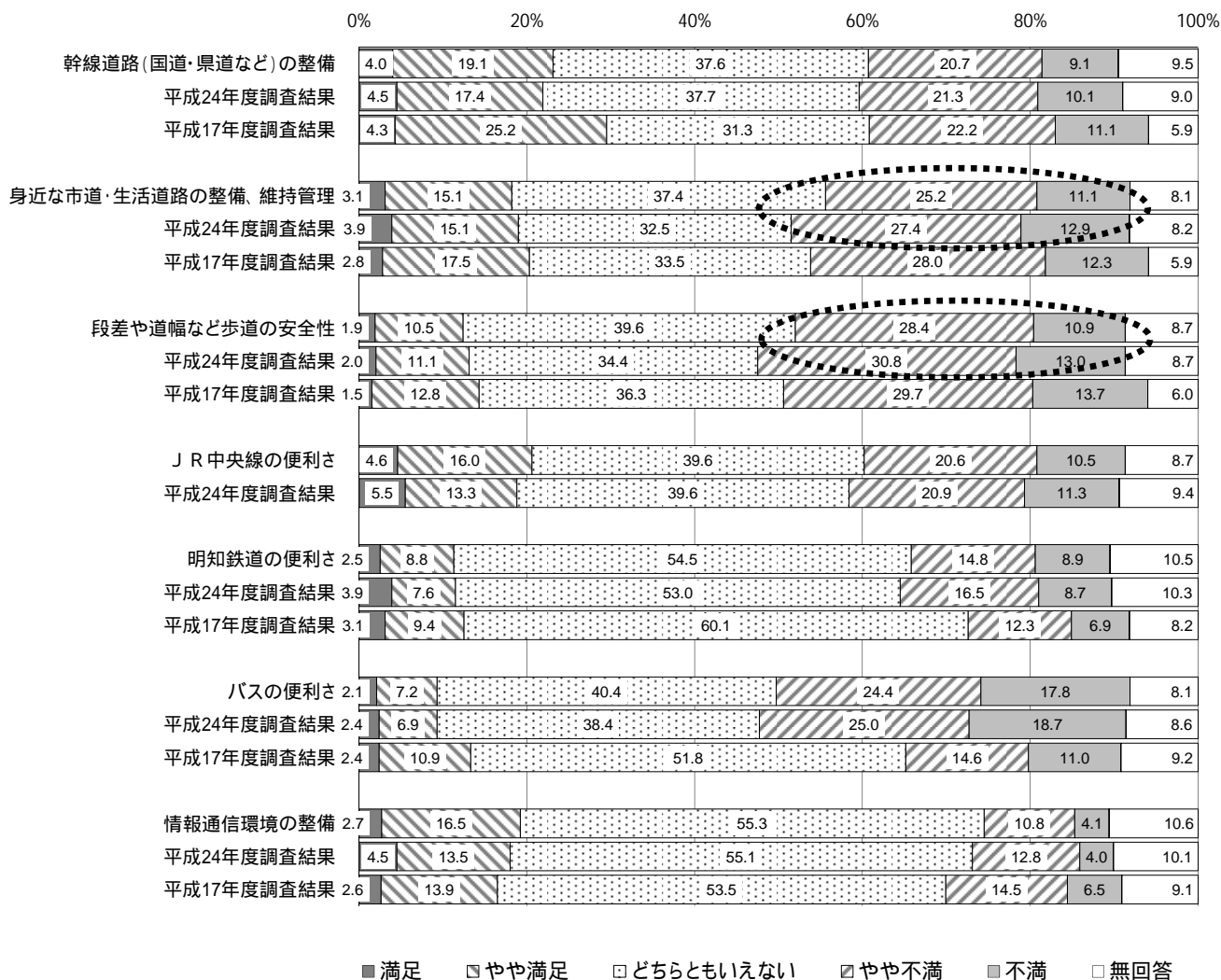


(3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」で4.0ポイント、「段差や道幅など歩道の安全性」で4.5ポイント低下しています。

図3-3 都市・交流基盤分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

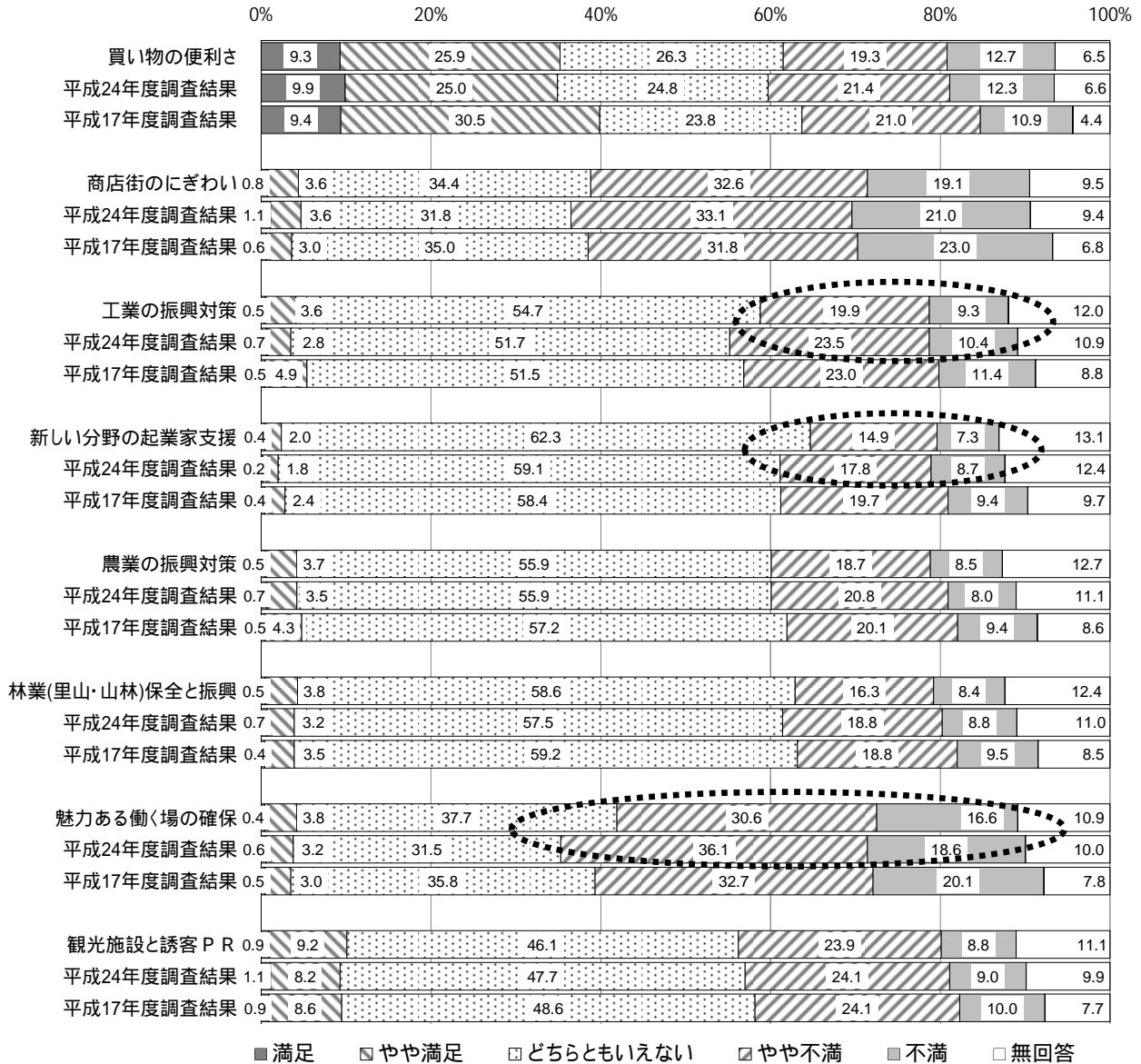


(4) 産業振興分野

産業振興分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「工業の振興対策」で4.7ポイント、「新しい分野の起業家支援」で4.3ポイント、「魅力ある働く場の確保」で7.5ポイント低下しています。

図3-4 産業振興分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

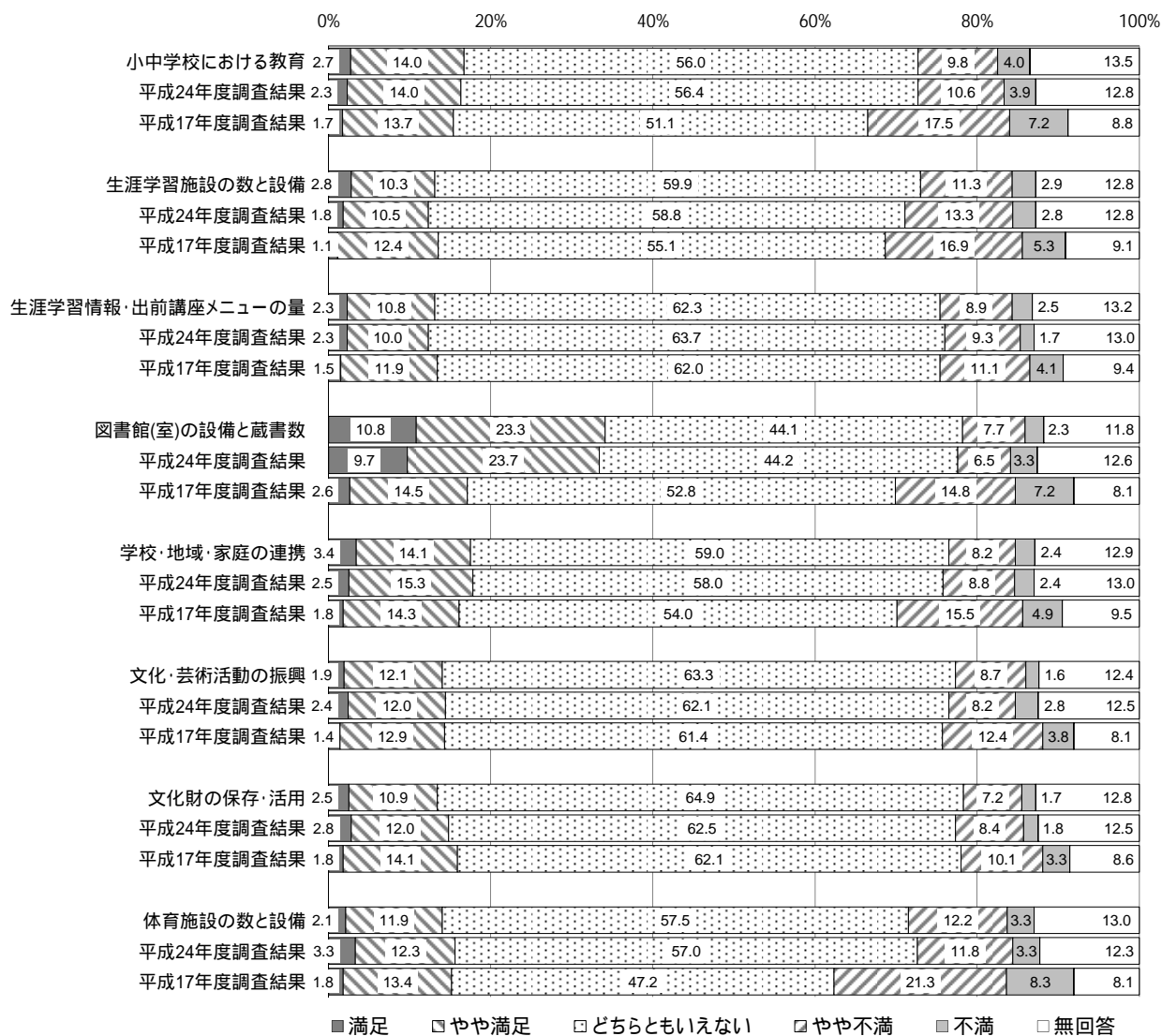


(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。また、不満度も前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。

図3-5 教育・文化分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

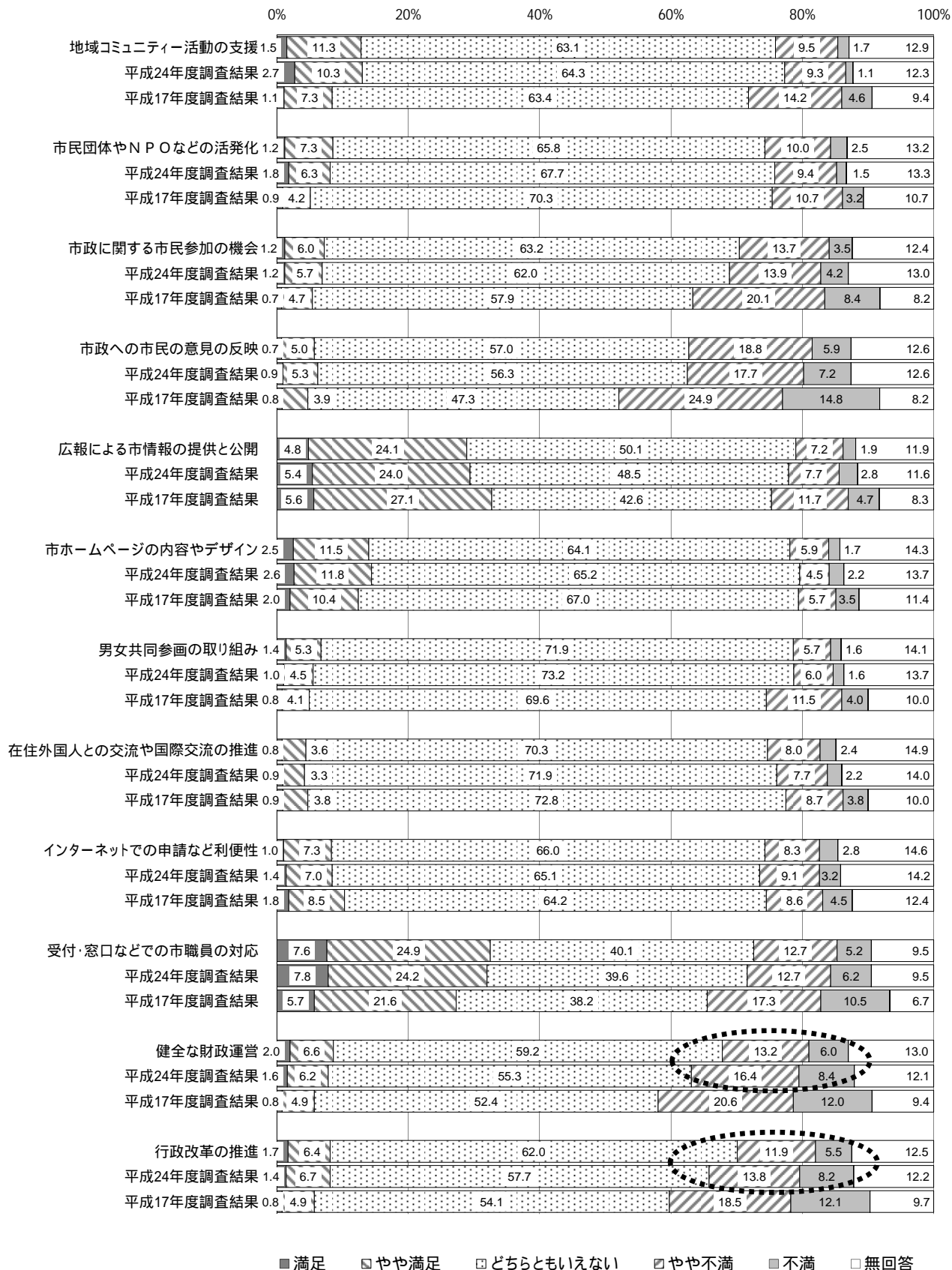


(6) 住民参画分野

住民参画分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「健全な財政運営」で5.6ポイント、「行政改革の推進」で4.6ポイント低下しています。

図3-6 住民参画分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)



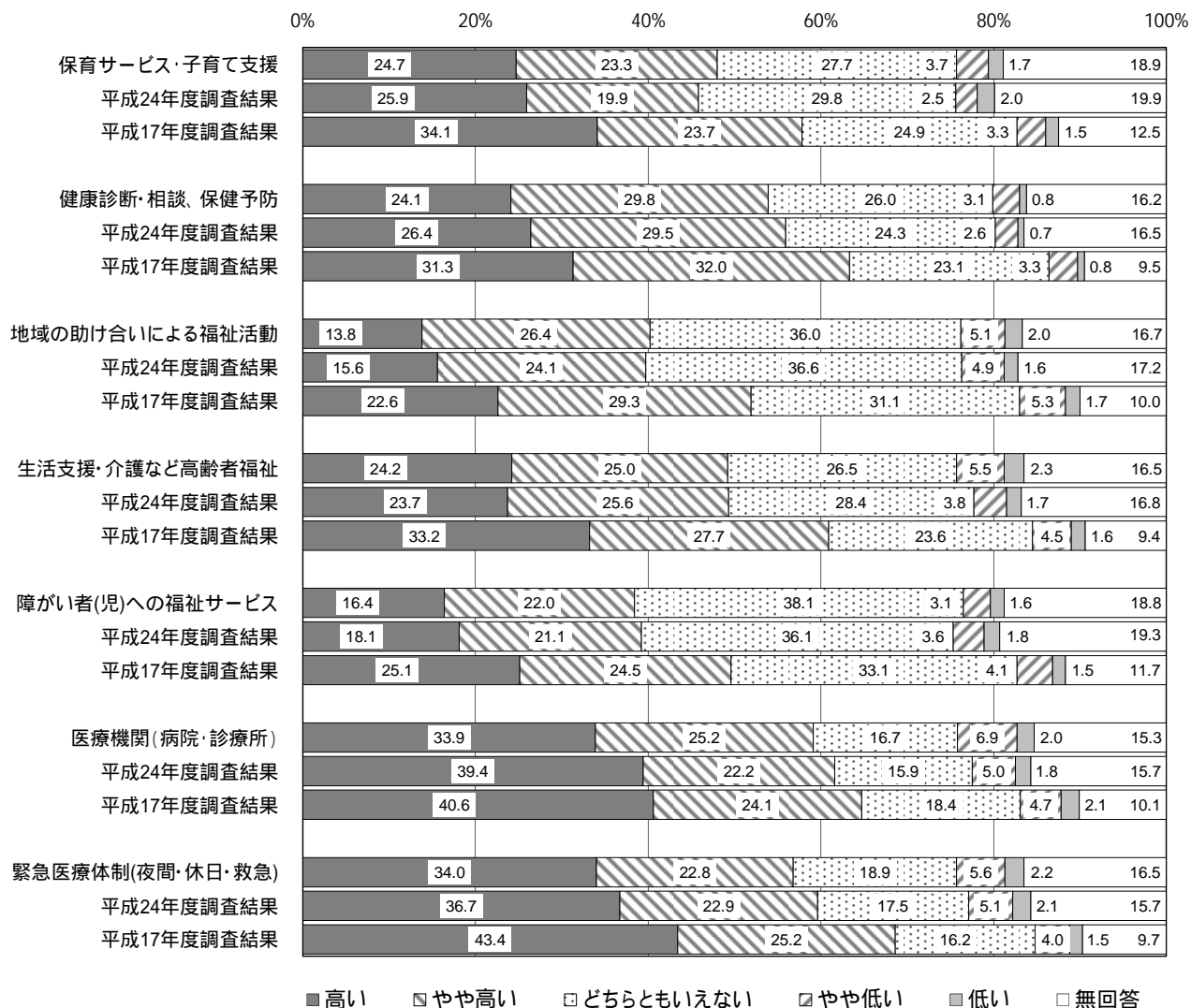
4 分野別施策重要度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の重要度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。

図4-1 健康福祉分野（重要度の経年比較、単数回答）

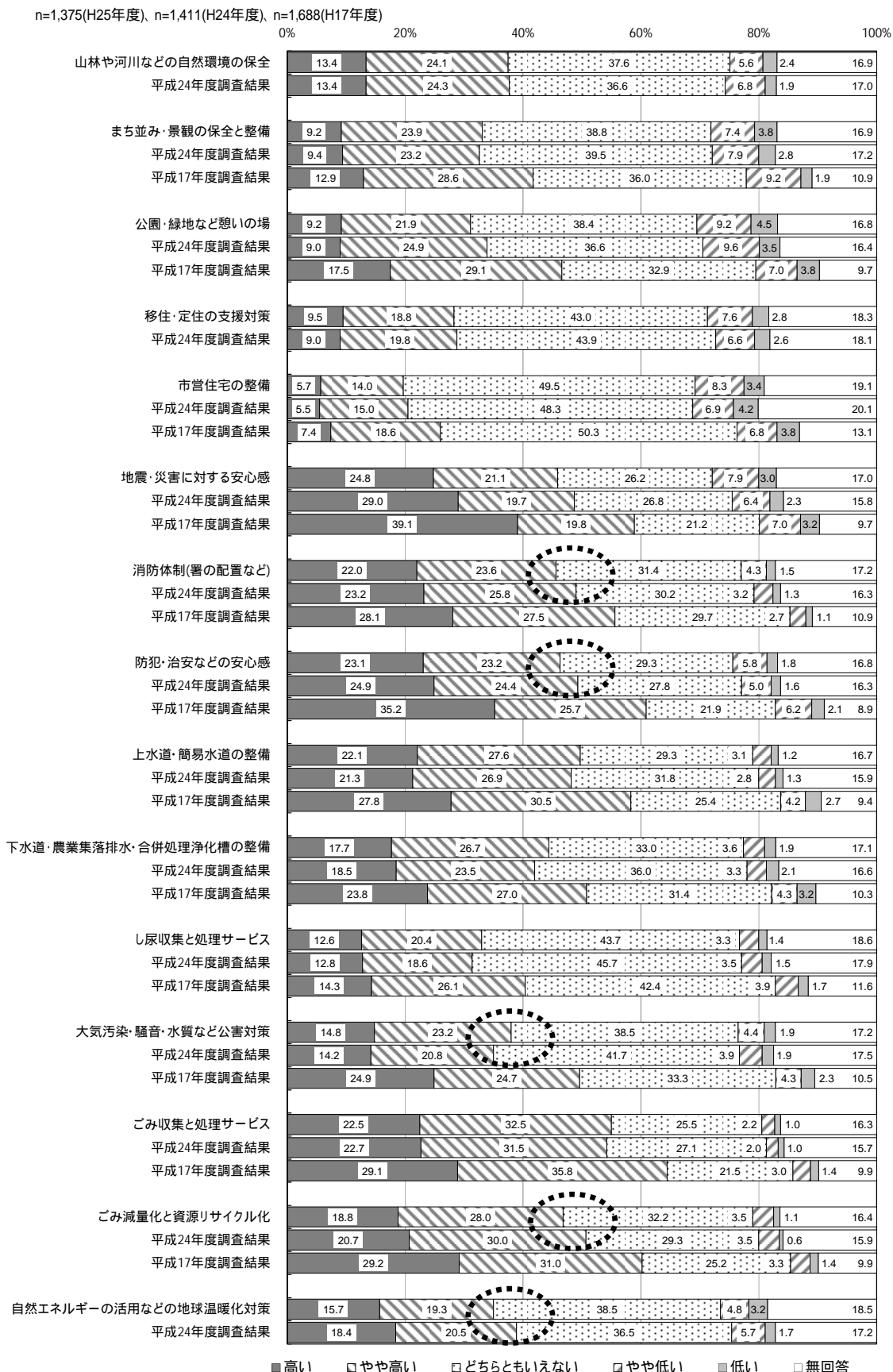
n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)



(2) 生活環境分野

生活環境分野の重要度を前年度と比較すると、「大気汚染・騒音・水質など公害対策」で3.0ポイント上昇、「消防体制（署の配置など）」で3.4ポイント、「防犯・治安などの安心感」で3.0ポイント、「ごみ減量化と資源リサイクル化」で3.9ポイント、「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」で3.9ポイント低下しています。

図4-2 生活環境分野（重要度の経年比較、単数回答）

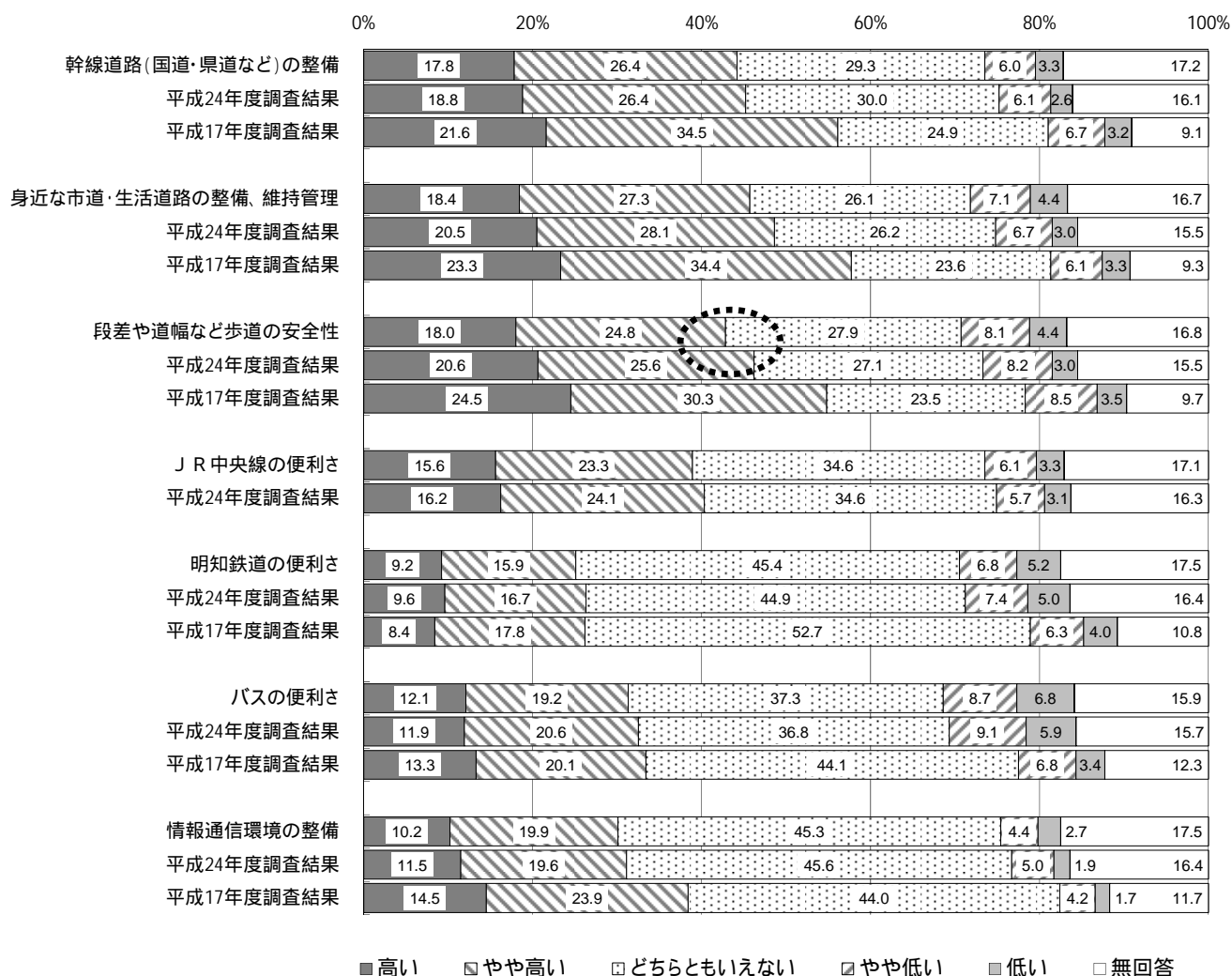


(3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の重要度を前年度と比較すると、「段差や道幅など歩道の安全性」で3.4ポイント低下しています。

図4-3 都市・交流基盤分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

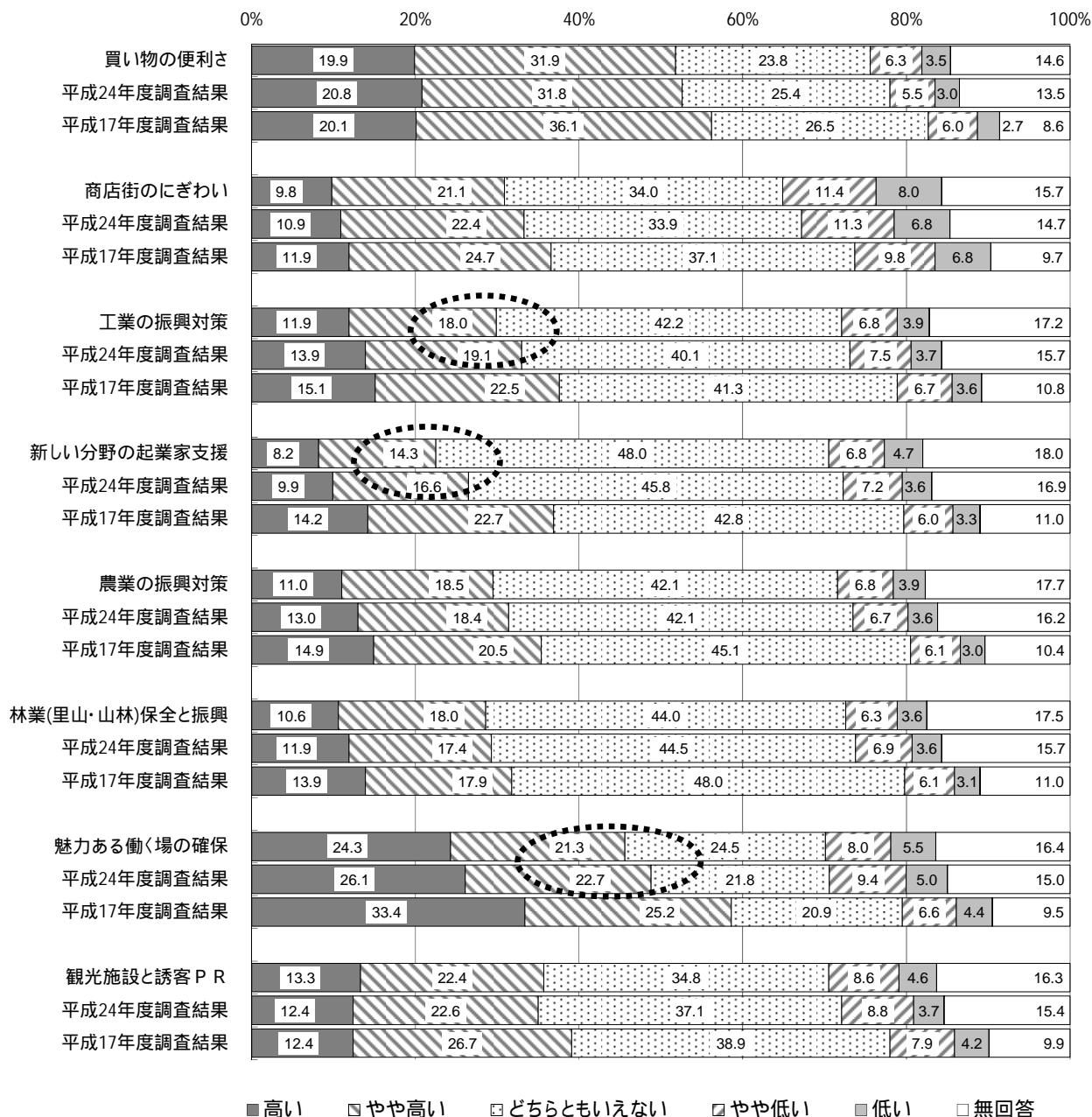


(4) 産業振興分野

産業振興分野の重要度を前年度と比較すると、「工業の振興対策」で3.1ポイント、「新しい分野の起業家支援」で4.0ポイント、「魅力ある働く場の確保」で3.2ポイント低下しています。

図4-4 産業振興分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

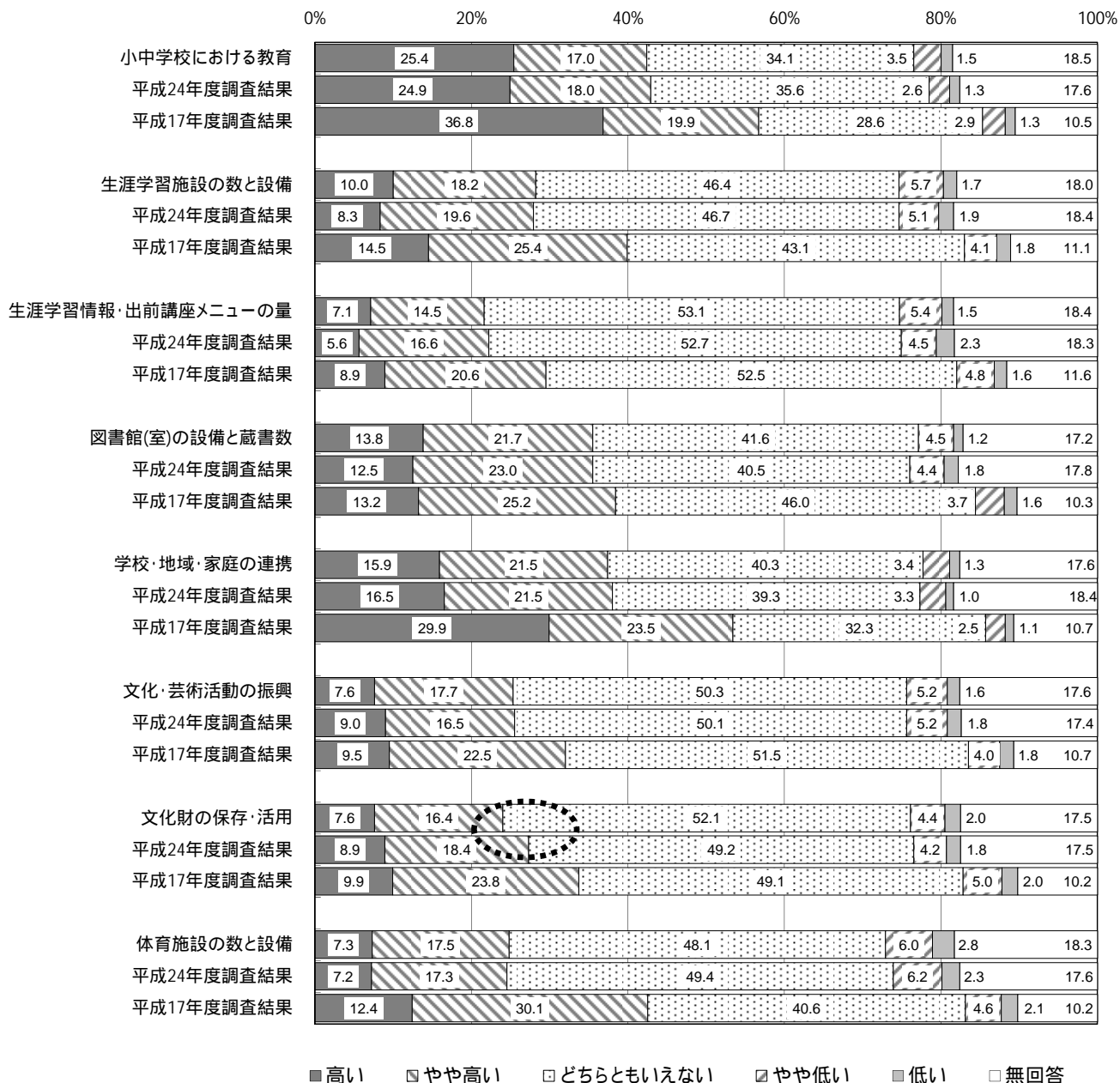


(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の重要度を前年度と比較すると、「文化財の保存・活用」で3.3ポイント低下しています。

図4-5 教育・文化分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

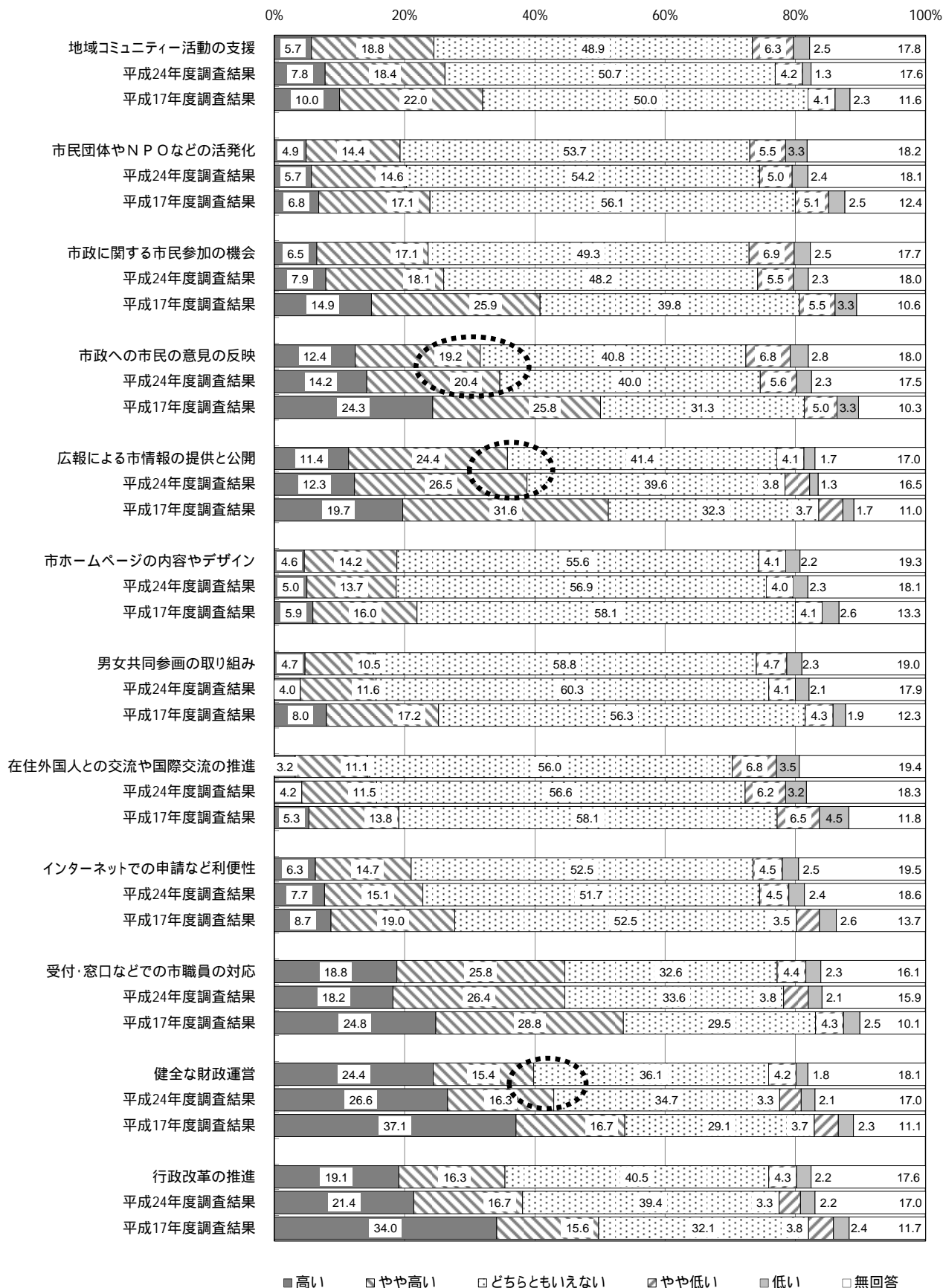


(6) 住民参画分野

住民参画分野の重要度を前年度と比較すると、「市政への市民の意見の反映」で3.0ポイント、「広報による市情報の提供と公開」で3.0ポイント、「健全な財政運営」で3.1ポイント低下しています。

図4-6 住民参画分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)



5 求められるまちづくりの方向性について

(1) 満足度・不満度・重要度の上位10項目

満足度の高い施策では、上位10項目のうち、「ごみ減量化と資源リサイクル化」と「広報による市情報の提供と公開」を除く8項目で前回調査時より満足度が高まっています。

不満度の高い施策では、上位10項目すべてで不満度が低くなっています。前回は上位10項目より下位だった「JR中央線の便利さ」が、今回は上位10項目に入り、「工業の振興対策」(前年8位)が上位10項目には入りませんでした。

重要度の高い施策では、上位10項目のうち、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「保育サービス・子育て支援」の3項目で重要度が高まっています。前回上位10項目より下位だった「上水道・簡易水道の整備」「保育サービス・子育て支援」が、今回は上位10項目に入り、「消防体制(署の配置など)」(前年9位)「魅力ある働く場の確保」(前年10位)が上位10項目には入りませんでした。

表5-1 満足度・不満度・重要度の上位10項目

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H24年度)
1	ごみ収集と処理サービス	53.7 []	52.5 (1)
2	上水道・簡易水道の整備	49.6 []	47.8 (2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	39.8 []	40.7 (3)
4	健康診断・相談、保健予防	38.3 []	38.2 (4)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	36.8 []	34.7 (6)
6	買い物の便利さ	35.2 []	34.9 (5)
7	図書館(室)の設備と蔵書数	34.1 []	33.4 (7)
8	受付・窓口などでの市職員の対応	32.5 []	32.0 (8)
9	し尿収集と処理サービス	30.9 []	29.3 (10)
10	広報による市情報の提供と公開	28.9 []	29.4 (9)

順位	不満度の高い施策	今回	前回(H24年度)
1	商店街のにぎわい	51.7 []	54.1 (2)
2	魅力ある働く場の確保	47.2 []	54.7 (1)
3	バスの便利さ	42.2 []	43.7 (4)
4	段差や道幅など歩道の安全性	39.3 []	43.8 (3)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	36.3 []	40.3 (5)
6	医療機関(病院・診療所)	32.7 []	37.1 (6)
6	観光施設と誘客PR	32.7 []	33.1 (10)
8	買い物の便利さ	32.0 []	33.7 (9)
9	JR中央線の便利さ	31.1 []	32.2 (11)
10	地震・災害に対する安心感	30.2 []	35.8 (7)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H24年度)
1	医療機関(病院・診療所)	59.1 []	61.6 (1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	56.8 []	59.6 (2)
3	ごみ収集と処理サービス	55.0 []	54.2 (4)
4	健康診断・相談、保健予防	53.9 []	55.9 (3)
5	買い物の便利さ	51.8 []	52.6 (5)
6	上水道・簡易水道の整備	49.7 []	48.2 (13)
7	生活支援・介護など高齢者福祉	49.2 []	49.3 (7)
8	保育サービス・子育て支援	48.0 []	45.8 (15)
9	ごみ減量化と資源リサイクル化	46.8 []	50.7 (6)
10	防犯・治安などの安心感	46.3 []	49.3 (7)

今回調査結果の[]内は、前回調査時からのポイントの上下を指す。
前回調査結果の()内は、前回順位を指す。

(2) 全施策マトリックス図

全57施策について、満足度、重要度ともに5段階評価での回答を得ました。下記の方法で回答を点数化し、施策の評価を行います。

[評価手順]

ア．5段階の評価点を次表のように決めます。

満足度	
満足	+2点
やや満足	+1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点
回答なし	0点

重要度	
高い	+2点
やや高い	+1点
どちらともいえない	0点
やや低い	-1点
低い	-2点
回答なし	0点

イ．評価指数を次の式により算出します。

(満足度)

$$\text{評価指数} = (2\text{点}) \times \text{「満足」の回答者数の割合} + (1\text{点}) \times \text{「やや満足」の回答者数の割合} + (-1\text{点}) \times \text{「やや不満」の回答者数の割合} + (-2\text{点}) \times \text{「不満」の回答者数の割合}$$

(重要度)

$$\text{評価指数} = (2\text{点}) \times \text{「高い」の回答者数の割合} + (1\text{点}) \times \text{「やや高い」の回答者数の割合} + (-1\text{点}) \times \text{「やや低い」の回答者数の割合} + (-2\text{点}) \times \text{「低い」の回答者数の割合}$$

ウ．全57施策の満足度及び重要度を指数化し、分布させた2軸のマトリックスを用います。

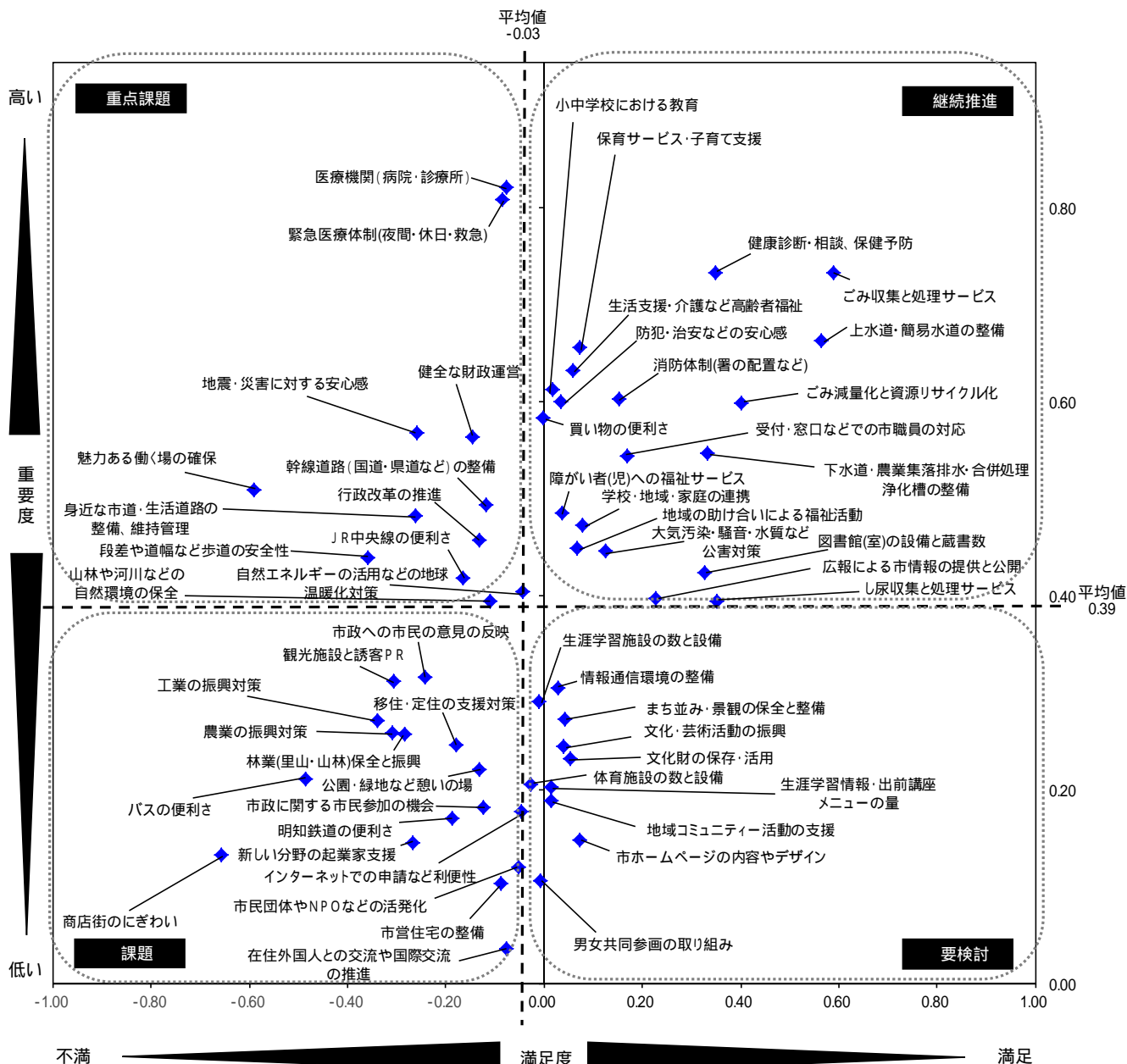
満足度指数及び重要度指数の平均値で区分される「重点課題」「継続推進」「課題」「要検討」の4つの領域のどこに分布しているかで、各施策の評価を行います。

区分	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり、重点的に推進する
継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり、必要性を検証し施策を推進する
要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する

全57施策の満足度指数の平均は「 - 0.03 」、重要度指数の平均は「 0.39 」です。

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、健康福祉分野の「医療機関(病院・診療所)」、「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」、生活環境分野の「山林や河川などの自然環境の保全」、「地震・災害に対する安心感」、「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」、都市・交通基盤分野の「幹線道路(国道・県道など)の整備」、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、「段差や道幅など歩道の安全性」、「JR中央線の便利さ」、産業振興分野の「魅力ある働く場の確保」、市民参画分野の「健全な財政運営」、「行政改革の推進」の12項目です。このうち「山林や河川などの自然環境の保全」を除く11項目は前回調査時と同じ施策であり、満足度の向上につながるよう、今後も重点的な取り組みの推進が求められています。

図5-1 全57施策マトリックス図



区分	重点課題	継続推進	課題	要検討
項目数(57)	12	19	16	10

6 個別施策について

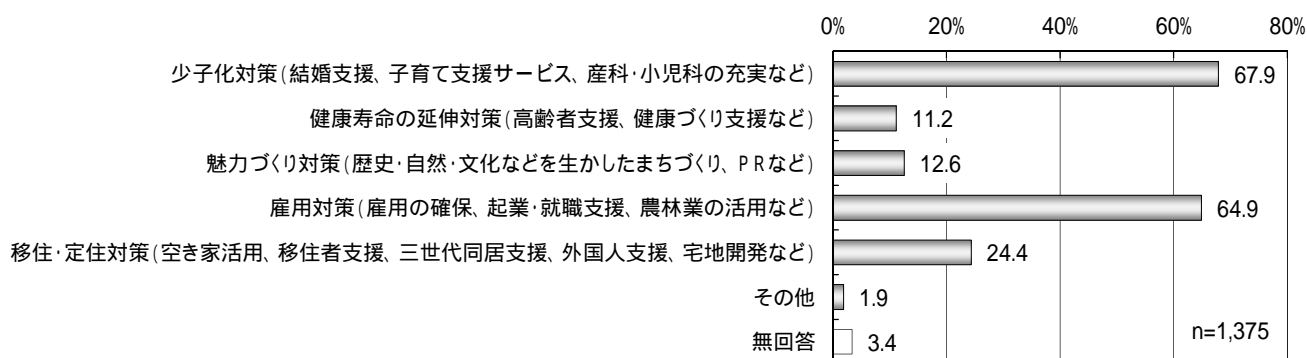
(1) 人口減少対策について

【問10】 恵那市の人口減少を食い止めるためには、特にどのような対策が重要だと思いますか？

複数回答：2つまで

「少子化対策（結婚支援、子育て支援サービス、産科・小児科の充実など）」が67.9%と最も高く、次いで「雇用対策（雇用の確保、起業・就職支援、農林業の活用など）」が64.9%、「移住・定住対策（空き家活用、移住者支援、三世帯同居支援、外国人支援、宅地開発など）」が24.4%の順となっています。

図6-1 人口減少対策について 複数回答：2つまで



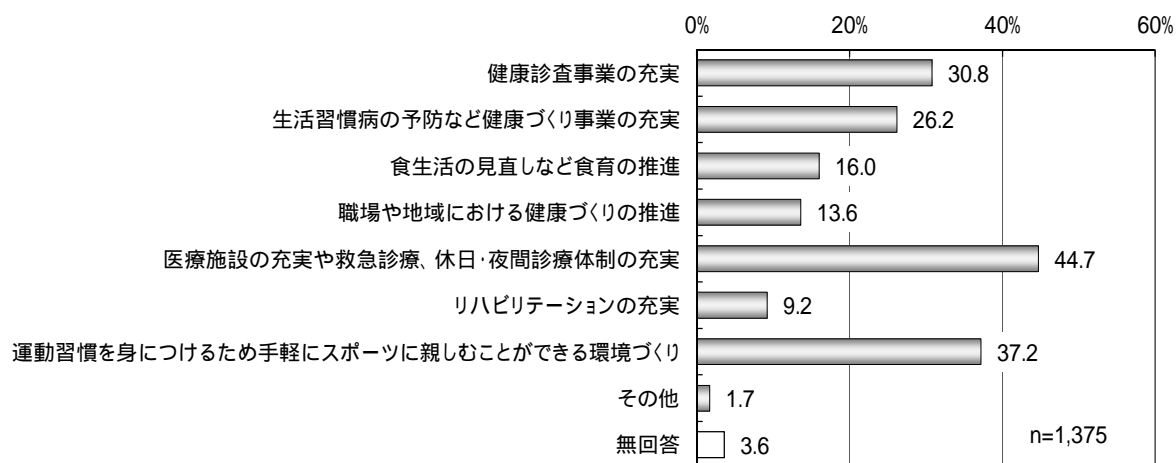
(2) 健康づくりについて

【問11】 健康づくりの充実を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか？

複数回答：2つまで

「医療施設の充実や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」が44.7%と最も高く、次いで「運動習慣を身につけるため手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」が37.2%、「健康診査事業の充実」が30.8%の順となっています。

図6-2 健康づくりについて 複数回答：2つまで



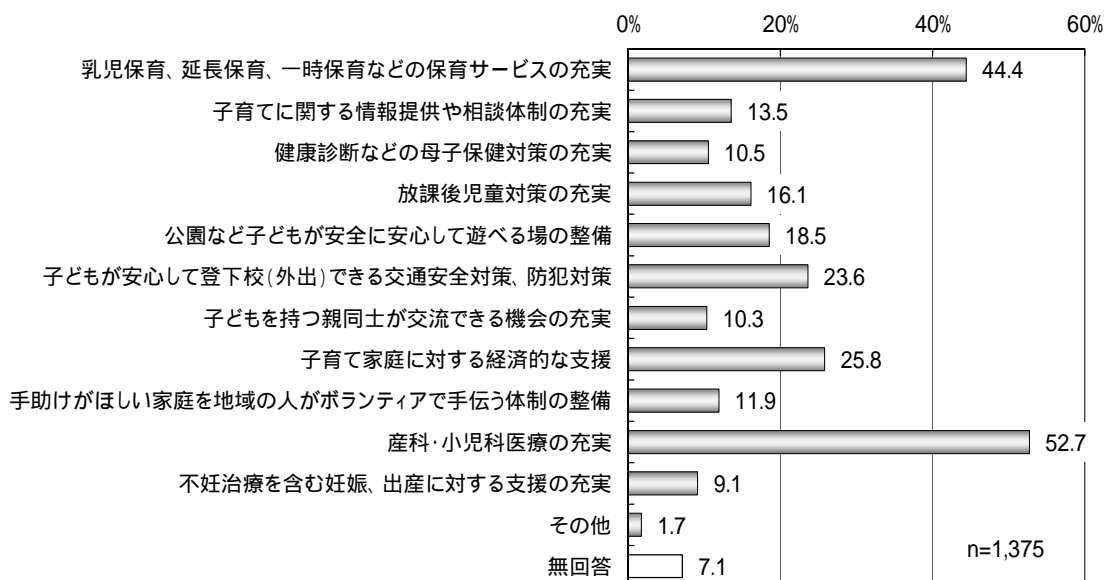
(3) 子育てについて

【問12】安心して子どもを生み育てるためには何が必要だと思いますか？

複数回答：3つまで

「産科・小児科医療の充実」が52.7%と最も高く、次いで「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が44.4%、「子育て家庭に対する経済的な支援」が25.8%の順となっています。

図6-3 子育てについて 複数回答：3つまで



(4) 生活環境について

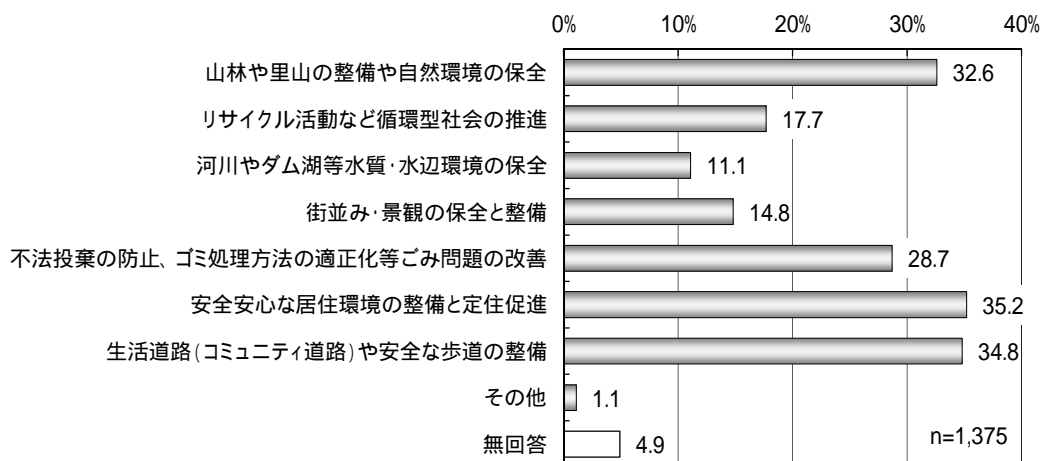
快適な生活環境に必要なこと

【問13】市の生活環境を快適なものにするためには何を行うことが必要だと思いますか？

複数回答：2つまで

「安全安心な居住環境の整備と定住促進」が35.2%と最も高く、次いで「生活道路(コミュニティ道路)や安全な歩道の整備」が34.8%、「山林や里山の整備や自然環境の保全」が32.6%の順となっています。

図6-4 快適な生活環境に必要なこと 複数回答：2つまで



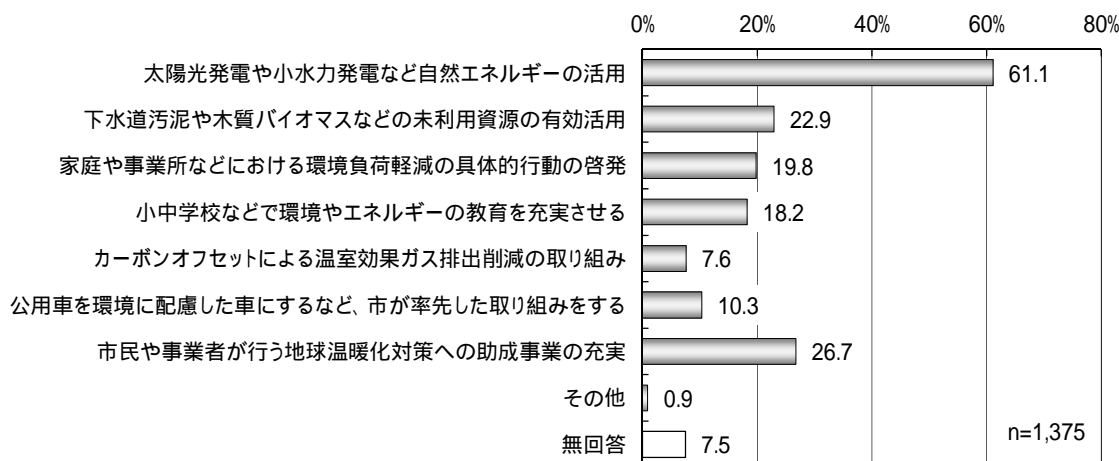
市が行う地球温暖化対策

【問14】地球温暖化対策で、どのようなことに市が重点的に取り組むべきだと思いますか？

複数回答：2つまで

「太陽光発電や小水力発電など自然エネルギーの活用」が61.1%と最も高く、次いで「市民や事業者が行う地球温暖化対策への助成事業の充実」が26.7%、「下水道汚泥や木質バイオマスなどの未利用資源の有効活用」が22.9%の順となっています。

図6-5 市が行う地球温暖化対策 複数回答：2つまで



(5) 防災・消防について

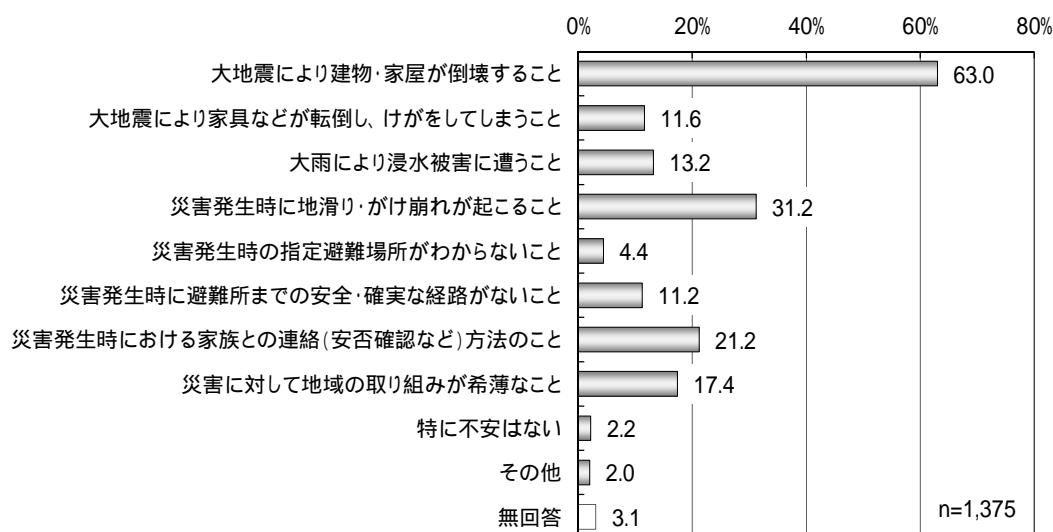
災害に対する不安内容

【問15】地震や大雨などの災害に対して、あなたが特に不安に思うことは何ですか？

複数回答：2つまで

「大地震により建物・家屋が倒壊すること」が63.0%と最も高く、次いで「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること」が31.2%、「災害発生時における家族との連絡（安否確認など）方法のこと」が21.2%の順となっています。一方、「特に不安はない」は2.2%となっています。

図6-6 災害に対する不安内容 複数回答：2つまで



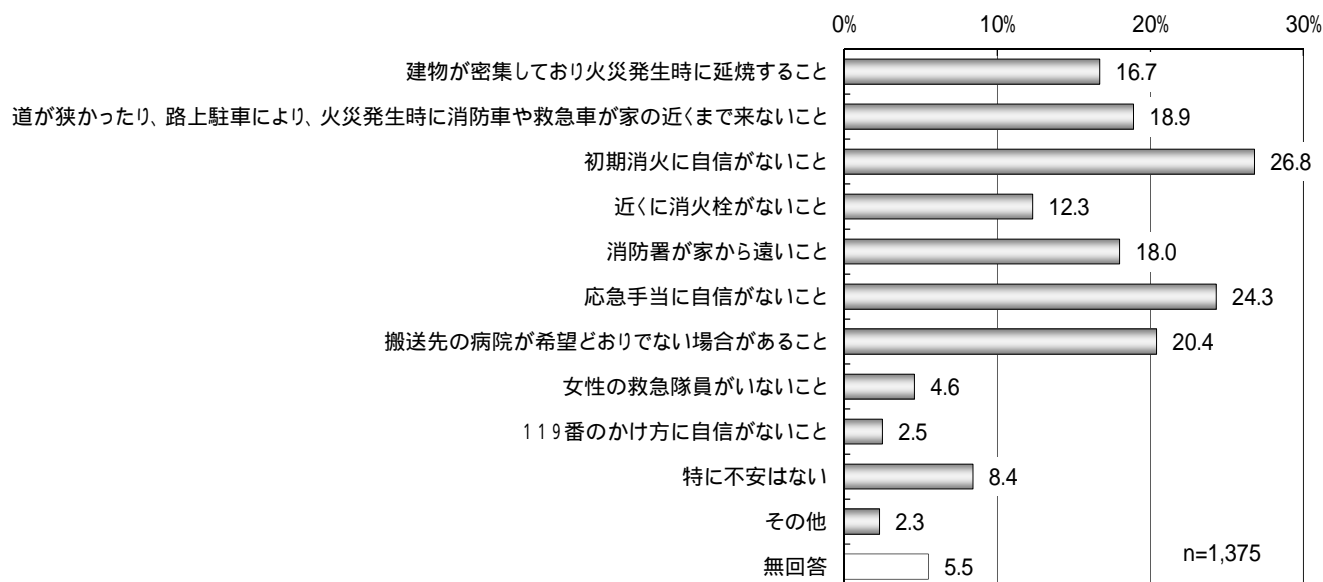
火災や救急に対する不安内容

【問16】火災や救急に対して不安に感じていることはありますか？

複数回答：2つまで

「初期消火に自信がないこと」が26.8%と最も高く、次いで「応急手当に自信がないこと」が24.3%、「搬送先の病院が希望どおりでない場合があること」が20.4%の順となっています。一方、「特に不安はない」は8.4%となっています。

図6-7 火災や救急に対する不安内容 複数回答：2つまで



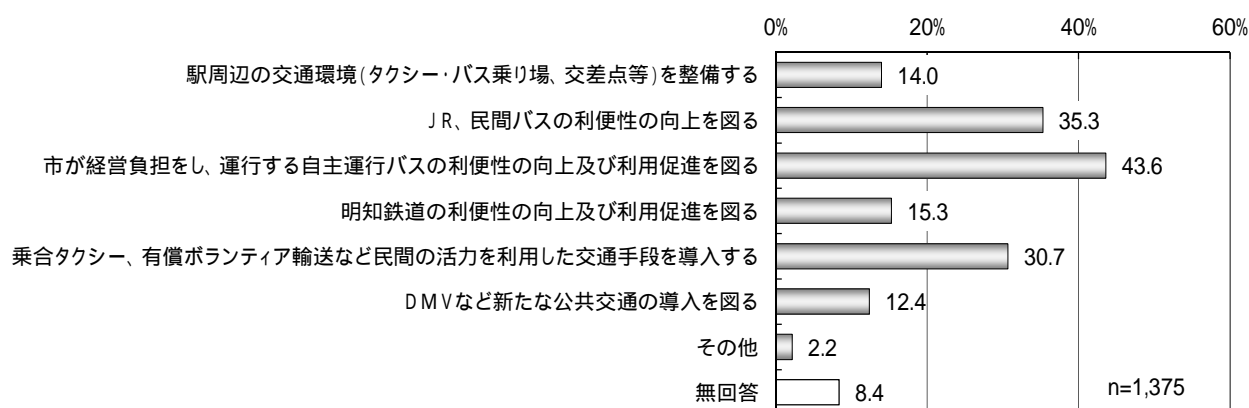
(6) 公共交通について

【問17】あなたは今後、どのような公共交通サービスが充実されることを望みますか？

複数回答：2つまで

「市が経営負担をし、運行する自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が43.6%と最も高く、次いで「JR、民間バスの利便性の向上を図る」が35.3%、「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など民間の活力を利用した交通手段を導入する」が30.7%の順となっています。

図6-8 公共交通について 複数回答：2つまで



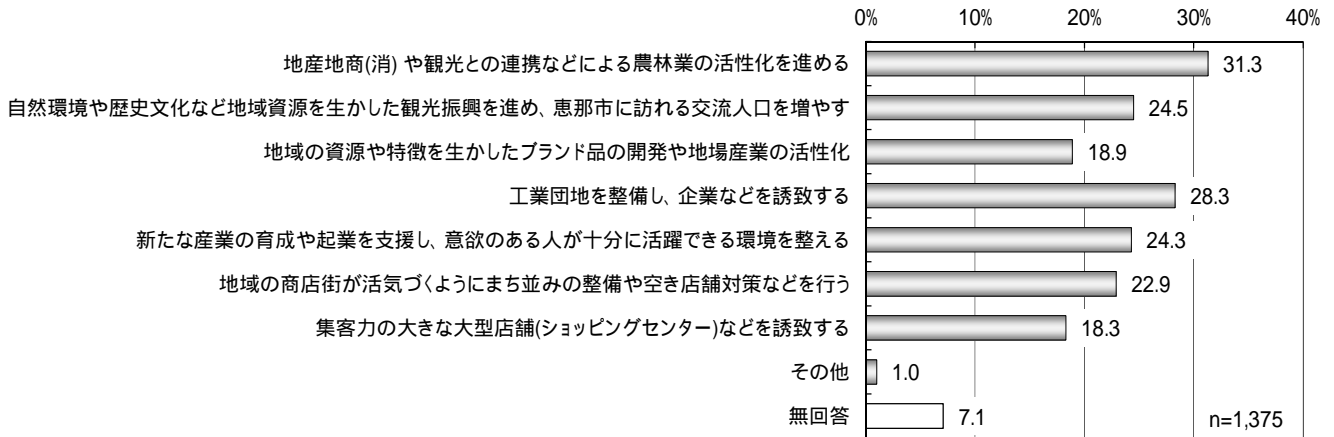
(7) 産業振興について

【問18】「活力あるまち」にするために、どのような取り組みが重要だと思いますか？

複数回答：2つまで

「地産地商(消)や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」が31.3%と最も高く、次いで「工業団地を整備し、企業などを誘致する」が28.3%、「自然環境や歴史文化など地域資源を生かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす」が24.5%の順となっています。

図6-9 産業振興について 複数回答：2つまで



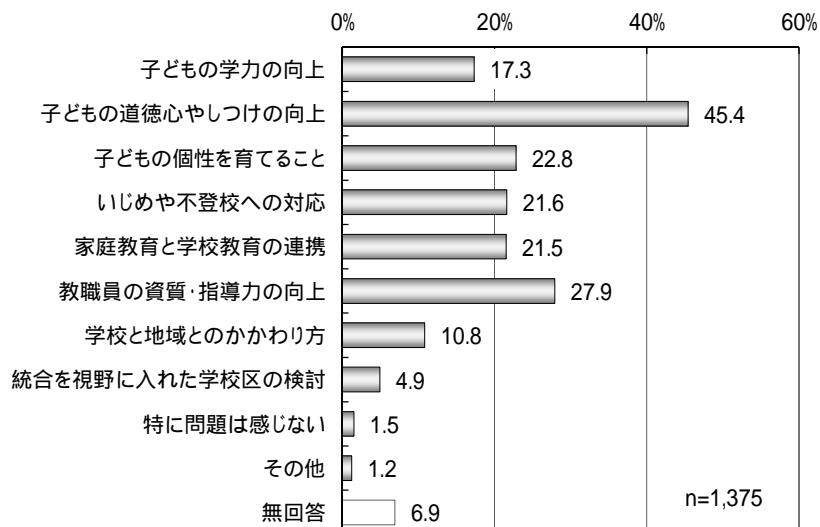
(8) 学校教育について

【問19】現在の小中学校教育を充実するために、どのようなことに力を入れるべきと思いますか？

複数回答：2つまで

「子どもの道徳心やしつけの向上」が45.4%と最も高く、次いで「教職員の資質・指導力の向上」が27.9%、「子どもの個性を育てること」が22.8%の順となっています。一方、「特に問題は感じない」は1.5%となっています。

図6-10 学校教育について 複数回答：2つまで



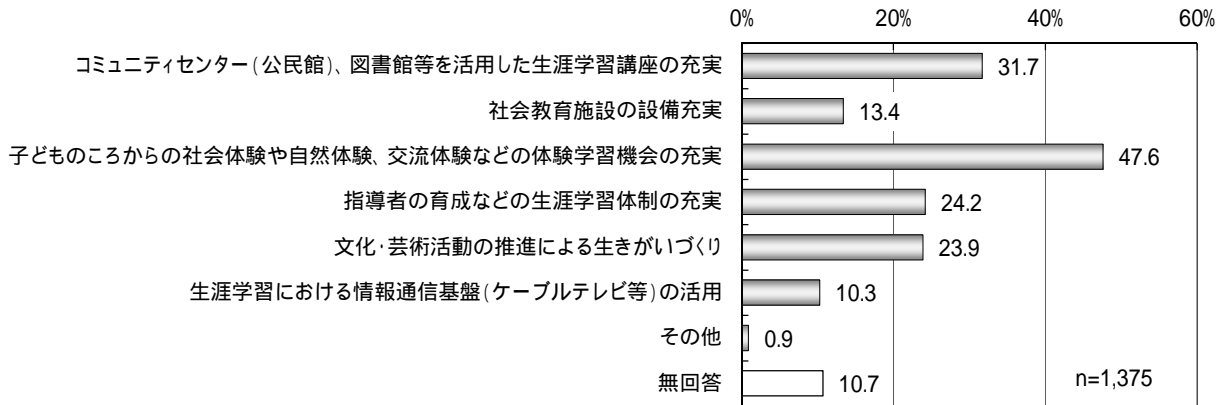
(9) 生涯学習について

【問20】生涯を通した学習を充実させるために特に力を入れるべきことは何だと思いませんか？

複数回答：2つまで

「子どもころからの社会体験や自然体験、交流体験などの体験学習機会の充実」が47.6%と最も高く、次いで「コミュニティセンター（公民館）、図書館等を活用した生涯学習講座の充実」が31.7%、「指導者の育成などの生涯学習体制の充実」が24.2%の順となっています。

図6-11 生涯学習について 複数回答：2つまで



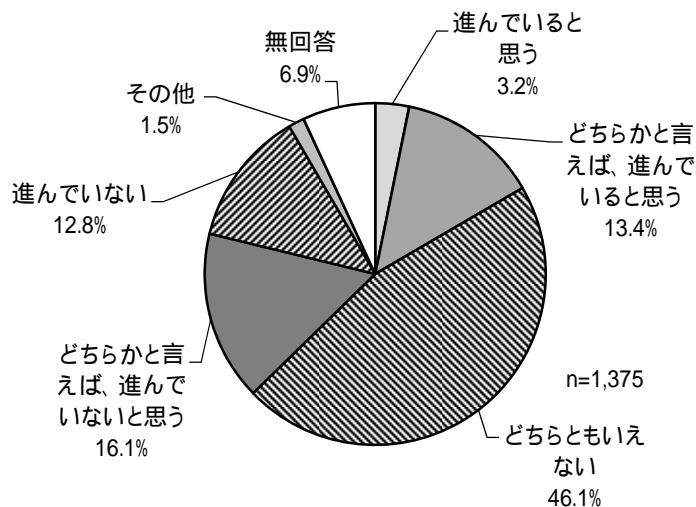
(10) 市民参加・市民協働について

市民参加・市民協働の進捗状況

【問21】合併後、各地域に地域自治区が設けられるなど、市民と行政の協働による地域づくりが進められつつあります。この市民と行政の新しい関係づくりは進んでいると思いませんか？ 単数回答

「進んでいると思う」「どちらかと言えば、進んでいると思う」を合わせると16.6%となっています。一方、「進んでいない」「どちらかと言えば、進んでいないと思う」を合わせると28.9%となっています。

図6-12 市民参加・市民協働の進捗状況 単数回答

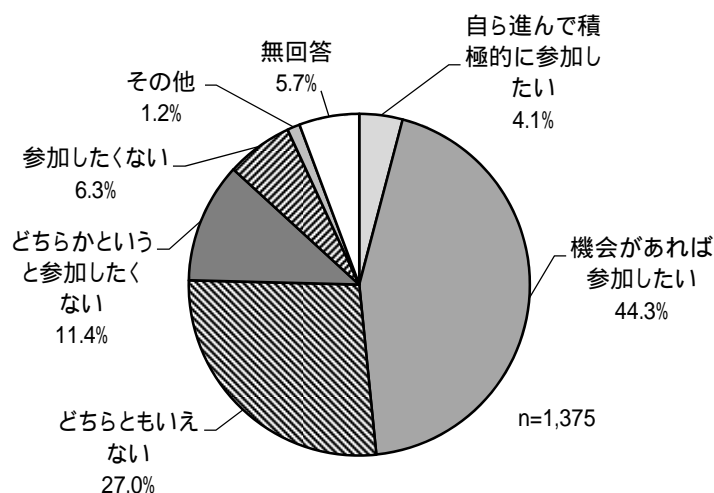


地域づくり活動への参加意向

【問22】あなたは地域で行っている各種地域づくり活動に参加したいと思いますか？ 単数回答

「自ら進んで積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせた参加意向のある人は48.4%となっています。一方、「参加したくない」「どちらかというに参加したくない」を合わせた参加意向のない人は17.7%となっています。

図6-13 地域づくり活動への参加意向 単数回答

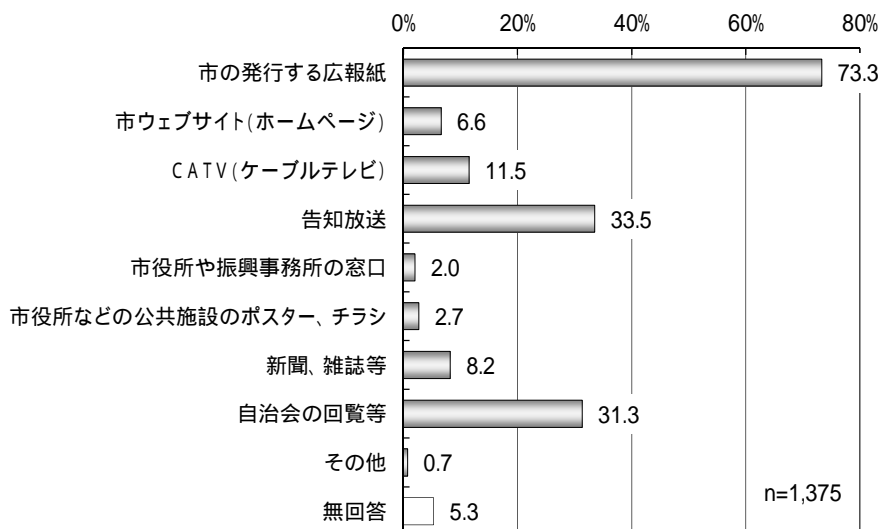


市政情報の取得手段

【問23】市ではケーブルテレビや告知放送受信機の整備を進め、各種媒体を使って情報の発信を行っています。主にどのような方法で市政の情報を入手されていますか？ 複数回答：2つまで

「市の発行する広報紙」が73.3%と最も高く、次いで「告知放送」が33.5%、「自治会の回覧等」が31.3%の順となっています。

図6-14 市政情報の取得手段 複数回答：2つまで



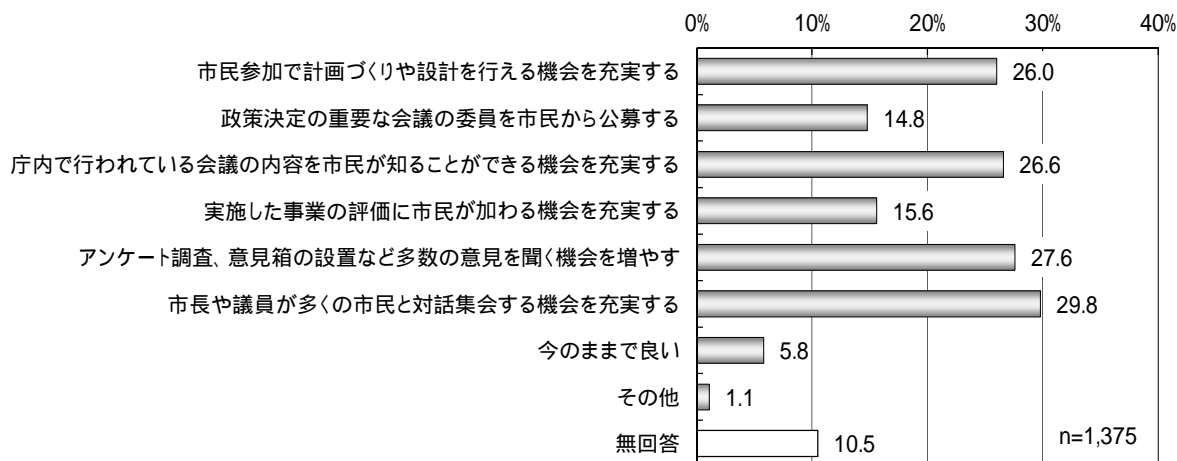
意見反映に必要なこと

【問 2 4】市民の意見を市政に反映するために、何が必要だと思いますか？

複数回答：2つまで

「市長や議員が多くの市民と対話集会する機会を充実する」が29.8%と最も高く、次いで「アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やす」が27.6%、「庁内で行われている会議の内容を市民が知ることができる機会を充実する」が26.6%の順となっています。一方、「今のままでよい」は5.8%となっています。

図6-15 意見反映に必要なこと 複数回答：2つまで



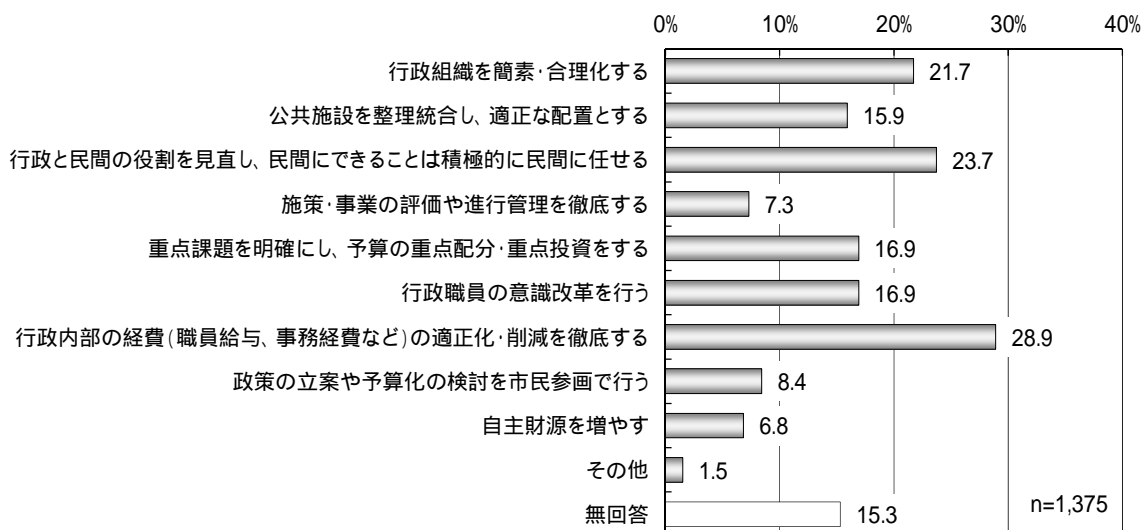
(11) 行財政運営について

【問 2 5】効率的な行財政運営を行うために、行財政改革に取り組んでいます。今後さらに進めなければならないことは何だと思いますか？

複数回答：2つまで

「行政内部の経費（職員給与、事務経費など）の適正化・削減を徹底する」が28.9%と最も高く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が23.7%、「行政組織を簡素・合理化する」が21.7%の順となっています。

図6-16 行財政運営について 複数回答：2つまで



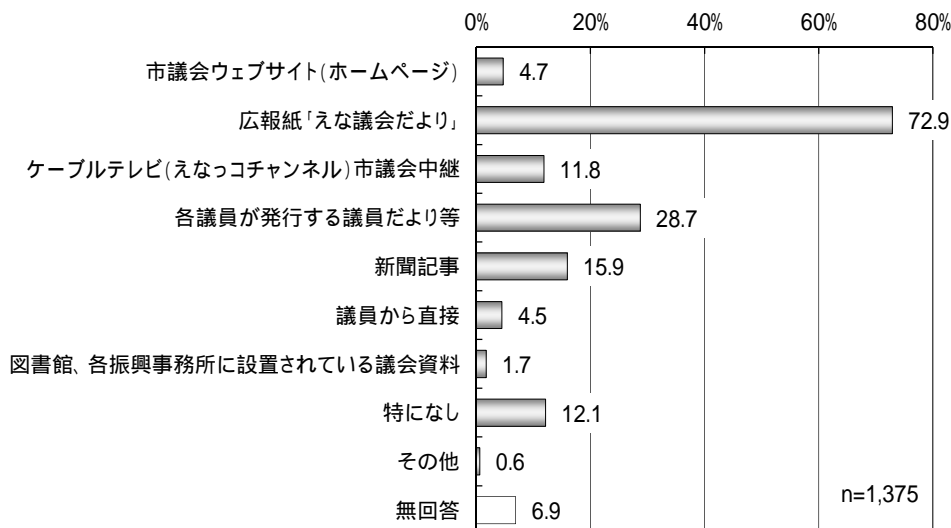
(12) 市議会の活動について

市議会活動情報の取得手段

【問26】市議会の活動について、主にどこから情報を得ていますか？ 複数回答：該当するものすべて

「広報紙「えな議会だより」」が72.9%と最も高く、次いで「各議員が発行する議員だより等」が28.7%、「新聞記事」が15.9%の順となっています。一方、「特になし」は12.1%となっています。

図6-17 市議会活動情報の取得手段 複数回答：該当するものすべて

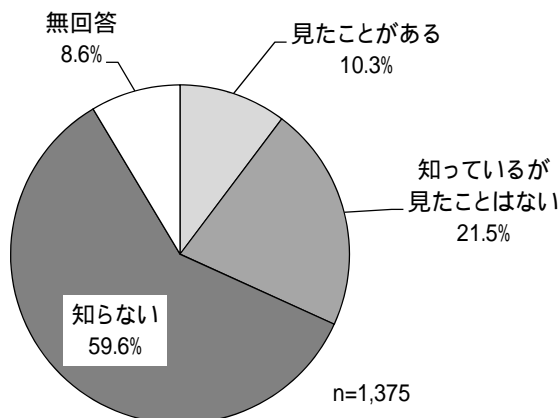


市議会中継のインターネット配信の周知度

【問27】市議会では昨年より本会議の様子をインターネットによるライブ配信、録画配信を行っていますか、ご存知ですか？ 単数回答

「知らない」が59.6%と最も高く、次いで「知っているが見たことはない」が21.5%、「見たことがある」が10.3%の順となっています。

図6-18 市議会中継のインターネット配信の周知度 単数回答



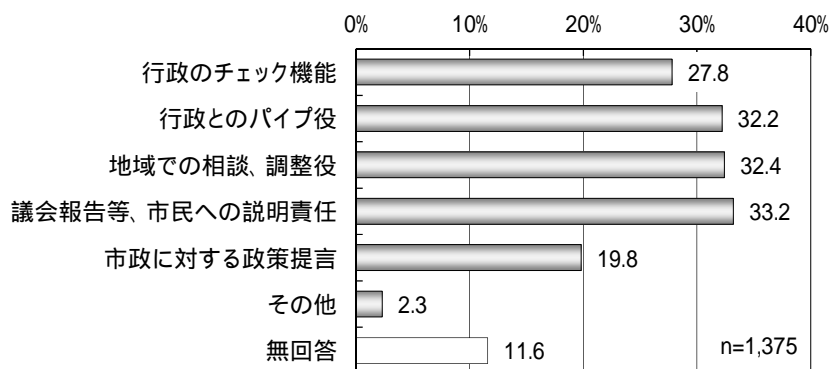
市議会・議員の活動への期待

【問28】市議会・議員の活動に対して、特に期待することは何ですか？

複数回答：2つまで

「議会報告等、市民への説明責任」が33.2%と最も高く、次いで「地域での相談、調整役」が32.4%、「行政とのパイプ役」が32.2%とほぼ同数で続いています。

図6-19 市議会・議員の活動への期待 複数回答：2つまで



(13) 中山道広重美術館について

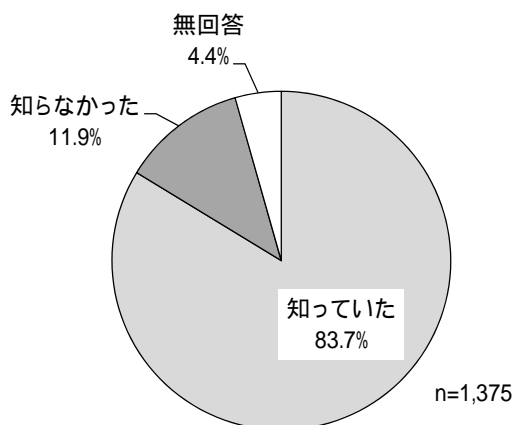
中山道広重美術館の周知度

【問29】恵那駅前通りに、歌川広重の浮世絵版画を展示している中山道広重美術館があることを知っていましたか？

単数回答

「知っていた」が83.7%と8割強を占め、「知らなかった」は11.9%となっています。

図6-20 中山道広重美術館の周知度 単数回答

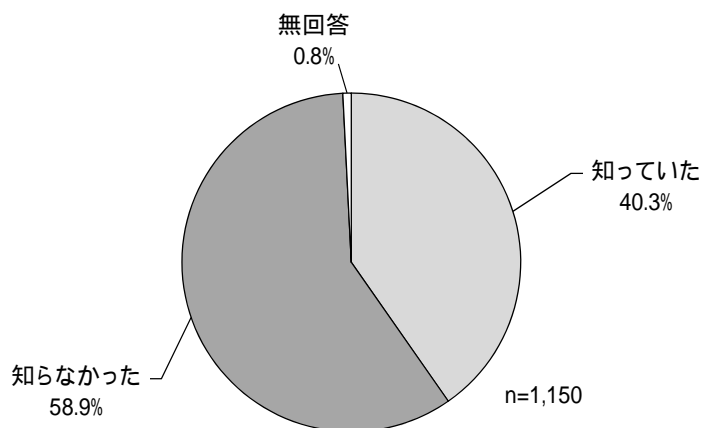


無料観覧の周知度

【問30】問29で1を選択した方にお聞きします。中山道広重美術館では、毎月第1日曜日を「市民の日」として、恵那市民に限り展覧会が無料で観覧できることを知っていましたか？ 単数回答

中山道広重美術館を知っている人のうち、無料観覧について「知らなかった」が58.9%、「知っていた」が40.3%となっています。

図6-21 無料観覧の周知度 単数回答、中山道広重美術館を知っている人

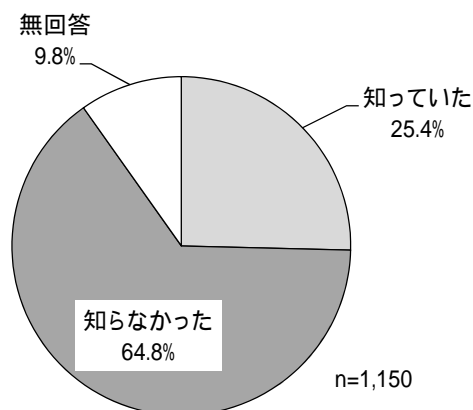


展示作品入れ替えの周知度

【問31】問29で1を選択した方にお聞きします。中山道広重美術館では、展示作品をほぼ1カ月ごとに入れ替えていることを知っていましたか？ 単数回答

中山道広重美術館を知っている人のうち、ほぼ1カ月ごとの展示作品入れ替えについて「知らなかった」が64.8%、「知っていた」が25.4%となっています。

図6-22 展示作品入れ替えの周知度 単数回答、中山道広重美術館を知っている人

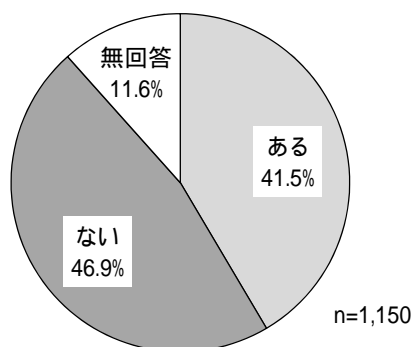


ポスターやチラシなどを見た経験の有無

【問3 2】問29で1を選択した方にお聞きします。市内の公共施設、駅、商店などに置かれた中山道広重美術館に関するポスターを見たり、チラシなどを手に取ったことがありますか？ 単数回答

中山道広重美術館を知っている人のうち、中山道広重美術館に関するポスターを見たり、チラシなどを手に取ったことが「ない」が46.9%、「ある」が41.5%となっています。

図6-23 ポスターやチラシなどを見た経験の有無 単数回答、中山道広重美術館を知っている人

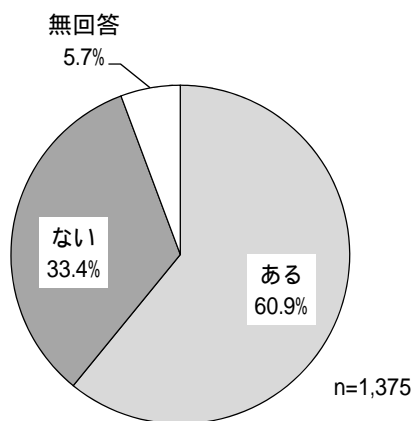


美術館に行った経験の有無

【問3 3】これまでに、中山道広重美術館に限らず、美術館に行ったことがありますか？ 単数回答

「ある」が60.9%、「ない」が33.4%となっています。

図6-24 美術館に行った経験の有無 単数回答



(14) 下校時見守りあいさつ運動について

市では、子どもたちの登下校時の安全確保と、地域コミュニティの円滑化を図るため、青少年育成市民会議（各地域の町民会議）、PTA、自治会、老人クラブ、地域防犯組織などと連携して、下校時見守りあいさつ運動を行っています。

特に、各小学校の下校時間に合わせ、防災行政無線を利用して、「夕焼け小焼け」のメロディと子どもの声で見守りを願う放送（見守り放送）を開始してから、5年が経過しました。今後のよりよい活動の参考とするため、以下の質問にお答えください。

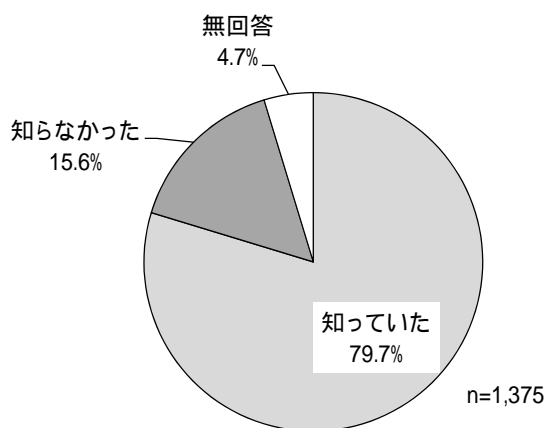
下校時見守りあいさつ運動の周知度

【問34】下校時見守りあいさつ運動を知っていましたか？

単数回答

「知っていた」が79.7%と約8割を占め、一方、「知らなかった」は15.6%となっています。

図6-25 下校時見守りあいさつ運動の周知度 単数回答



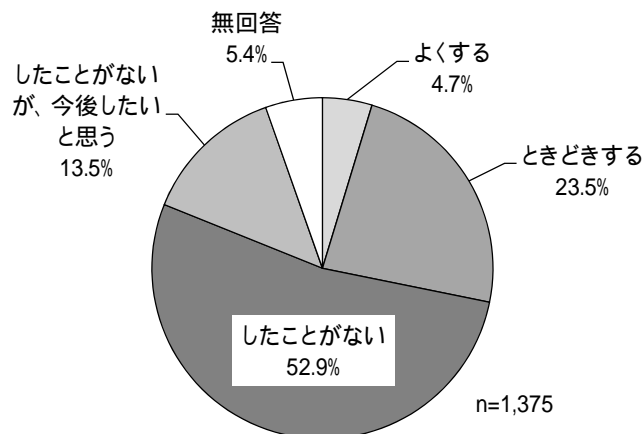
下校時見守り経験の有無

【問35】見守り放送に合わせて、子どもたちの下校の見守りをしたことがありますか？

単数回答

「よくする」「ときどきする」を合わせた見守り経験のある人は28.2%となっています。一方、「したことがない」「したことがないが、今後したいと思う」を合わせた見守り経験のない人は66.4%となっています。

図6-26 下校時見守り経験の有無 単数回答

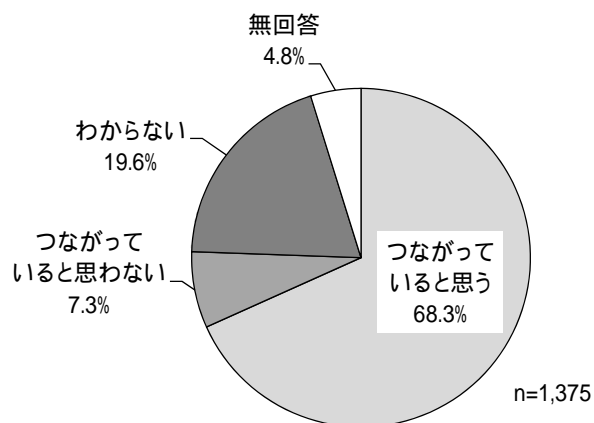


見守り放送の安全への効果の有無

【問36】見守り放送が、子どもと地域の大人とのふれあい（あいさつ運動）や、子どもたちの安全につながっていると思いますか？ 単数回答

「つながっていると思う」が68.3%と約7割を占めている一方、「つながっていると思わない」が7.3%となっています。

図6-27 見守り放送の安全への効果の有無 単数回答



(15) 今後の居留意向について

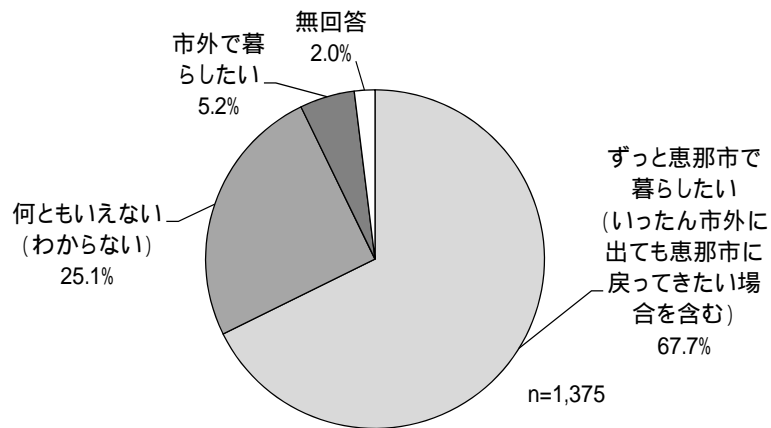
居留意向の有無

【問37】あなたは今後も恵那市で暮らしたいですか？

単数回答

「ずっと恵那市で暮らしたい(いったん市外に出ても恵那市に戻ってきたい場合を含む)」が67.7%と約7割を占めています。一方、「市外で暮らしたい」は5.2%となっています。

図6-28 居留意向の有無 単数回答



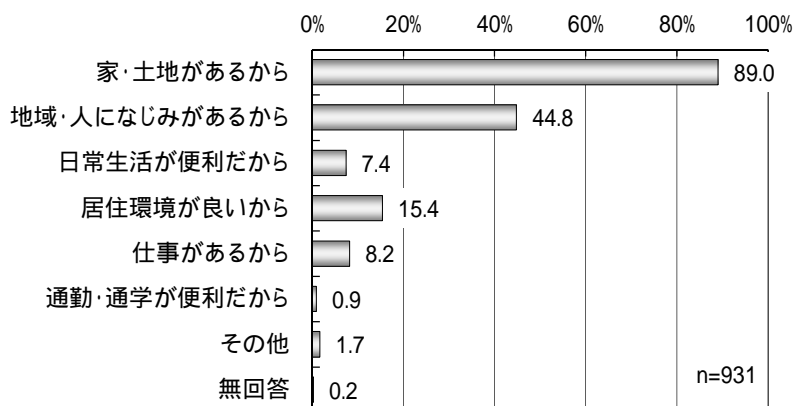
住み続けたい理由

【問38】問37で1を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか？

複数回答：2つまで

「家・土地があるから」が89.0%と最も高く、次いで「地域・人になじみがあるから」が44.8%、「居住環境が良いから」が15.4%の順となっています。

図6-29 住み続けたい理由 複数回答：2つまで、定住意向のある人



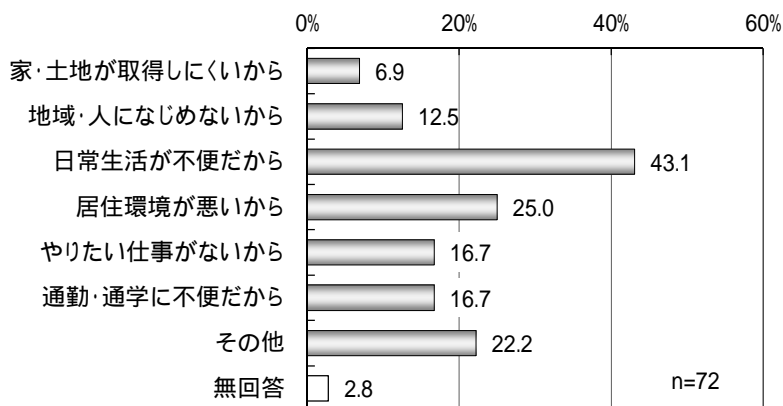
住み続けたくない理由

【問39】問37で3を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか？

複数回答：2つまで

「日常生活が不便だから」が43.1%と最も高く、次いで「居住環境が悪いから」が25.0%、「その他」が22.2%の順となっています。「その他」の主な記述内容は、「物価が高い」「税金が高い」「市外に家・実家がある」などとなっています。

図6-30 住み続けたくない理由 複数回答：2つまで、定住意向のない人



平成25年度
市民意識調査結果報告書
(概要版)
恵那市役所 企画課
